

大田原市男女共同参画に関する
若者（高校生・大学生）意識調査結果
報告書

令和 8 年 5 月

大田原市総合政策部政策推進課

目次

I 調査概要

1. 調査目的.....	1
2. 調査設計.....	1
3. 調査内容.....	1
4. 回収結果.....	1
5. 報告書の見方.....	1

II 調査結果

1. 調査回答者の基本属性.....	5
問1 あなたの性別をお答えください。.....	5
2. 用語や役割の意識について.....	6
問2 次にあげる言葉や事柄について、知っているか、または聞いたことがありますか。 あるものすべてを選んでください。.....	6
問3 「男は仕事、女は家庭」という、性別によって役割を固定する考え方について、 あなたはどう思いますか。考えに近いものを1つを選んでください。.....	7
3. 自分のことや将来について.....	8
問4 あなたは自分のことや社会について、どのように考えていますか。(1) から (7) の項目にあてはまる番号を1つを選んでください。.....	8
問5 あなたの家庭では、次にあげる項目(1) から (5) を主に行っているのは誰で すか(複数選択可)。ただし、同程度に協力して行っている場合は、その人すべての番 号を選んでください。.....	16
問6 あなたが理想と考える将来の働き方はどのようなものですか。考えに近いものを 1つを選んでください。.....	21
問7 もしあなたが将来子どもを持ったとき、子育てをどのように行っていきたいと思 いますか。考えに近いものを1つを選んでください。.....	22
4. デートDVについて.....	23
問8 あなたは、「デートDV」(交際相手からの暴力)について、知っていますか?.....	23
問9 あなたは、交際相手の次の行為について、暴力だと思いますか? 考えに最も近い ものの番号を、それぞれの項目について1つを選んでください。.....	24
5. SDGs について.....	34
問10 【今回新設】あなたは、2030年までに達成を目指す「持続可能な開発目標 (SDGs)」17の目標の中で、普段、意識している目標はありますか? 該当する番号をす べてを選んでください。.....	34

問11 「持続可能な開発目標（SDGs）」の17の目標に、「ジェンダー平等を実現しよう」という目標がありますが、ジェンダー平等の実現のために学校教育で必要とされる取り組みは何だと思いますか？ 考えに近いものを1つ選んでください。	36
6. 男女共同参画社会について	37
問12 「男女共同参画社会」とは、次にあげるような社会であると考えられています。この中であなたが実現したい社会はどれですか。考えに近いものを1つ選んでください。	37
Ⅲ その他の回答、自由記述	
1. その他の回答	41
2. 自由記述	42
Ⅳ 調査結果のまとめ	
1. 用語や役割の意識について	47
2. 自分のことや将来等について	47
3. デート DV について	48
4. SDGs について	49
5. 男女共同参画社会について	49
Ⅴ アンケート調査票	53

I 調査概要

I 調査概要

1. 調査目的

本調査は、「おおたわら男女共同参画プラン（第4次大田原市男女共同参画行動計画）」が令和8年度をもって終了することに合わせ、男女共同参画に関する高校生や大学生といった若者の考えや意識を調査し、次期計画の策定や今後の事業に反映させることを目的に実施しました。

2. 調査設計

- (1) 調査対象：①市内の高校に通う高校2年生（大田原高等学校 199 人、大田原女子高等学校 189 人、黒羽高等学校 74 人）
②国際医療福祉大学大田原キャンパスに通う学生（3,802 人にメール送信）
- (2) 調査方法：高校生：個人配布のタブレットにより通知、Web 回答
大学生：学生課よりメール配信及び大学の Web 掲示板への掲示による通知、Web 回答
- (3) 調査期間：高校生：令和7年8月下旬～令和7年10月下旬
大学生：令和7年8月下旬～令和7年12月下旬

3. 調査内容

- (1) 調査回答者の基本属性
- (2) 用語や役割の意識について
- (3) 自分のことや将来について
- (4) デート DV について
- (5) SDGs について
- (6) 男女共同参画社会について

4. 回収結果

- (1) 調査票送付数：4,264 人
- (2) 回収数：768 人
- (3) 回収率：18.0%

5. 報告書の見方

- (1) 各グラフの“n”は、当該設問の回答者数を示しています。
- (2) 複数回答の質問は、回答者数をベースとして比率（%）を算出しているため、合計が100%を超えています。

- (3) 集計結果のグラフ・表における比率(%)は、四捨五入の関係で内訳の合計が 100%にならない場合があります。
- (4) 今回調査において新設された設問には【今回新設】と記載しています。
- (5) 今回調査において新設された選択肢については、凡例内に(新設)と記載しています。
- (6) 今回調査において削除された選択肢については、凡例内に(削除)と記載しています。

Ⅱ 調査結果

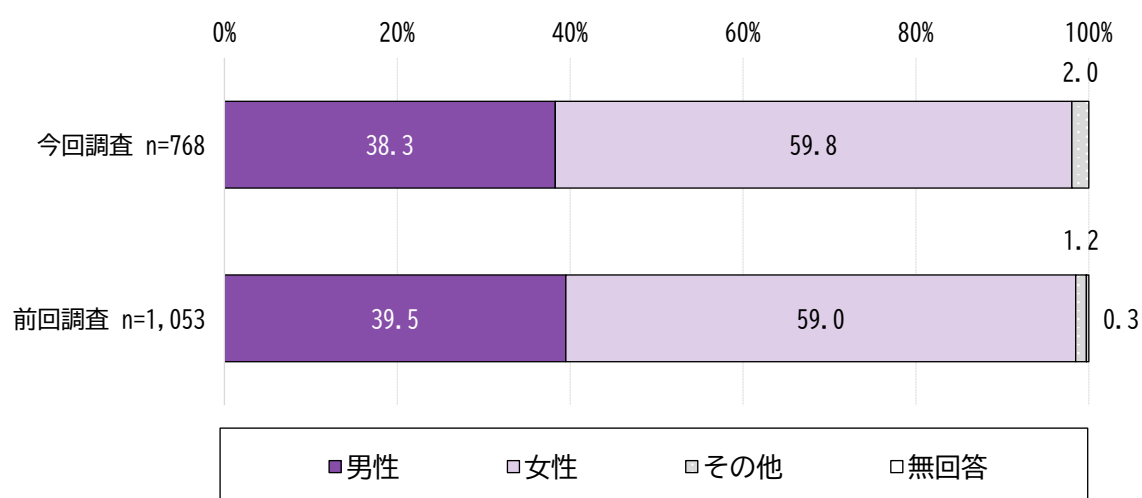
Ⅱ 調査結果

1. 調査回答者の基本属性

問1 あなたの性別をお答えください。

回答者の性別は、「男性」が38.3%、「女性」が59.8%、「その他」が2.0%となっており、前回調査と同様の傾向がみられます。

【前回比較】



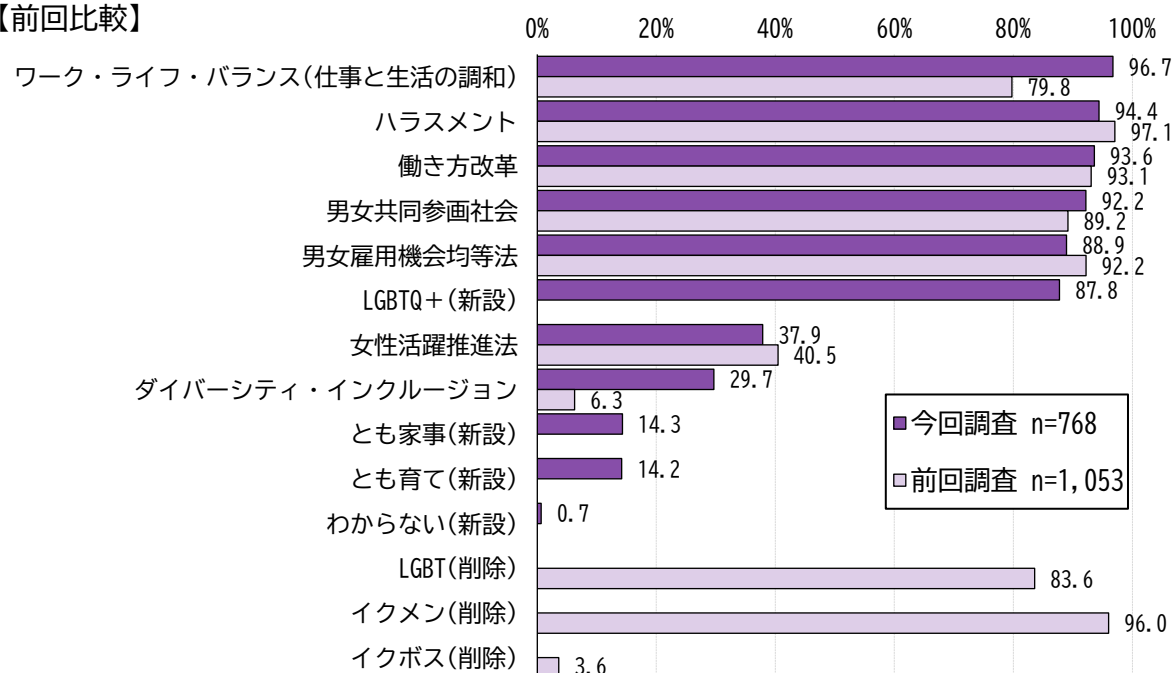
2. 用語や役割の意識について

問2 次にあげる言葉や事柄について、知っているか、または聞いたことがありますか。あるものすべてを選んでください。

言葉や事柄の認知度について、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」「ハラスメント」「働き方改革」「男女共同参画社会」は9割以上、「男女雇用機会均等法」「LGBTQ+」は約9割と割合が高くなっています。

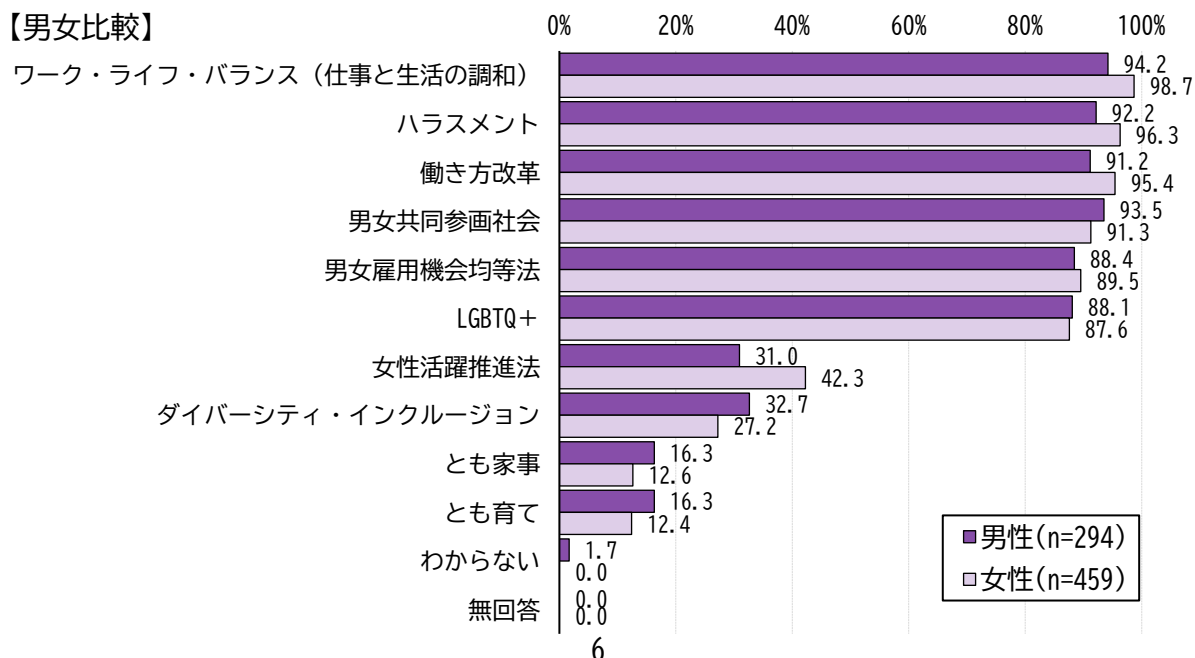
前回調査との比較では、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」が 16.9 ポイント増加しています。

【前回比較】



男女比較では「女性活躍推進法」については、女性が男性より 11.3 ポイント高くなっています。

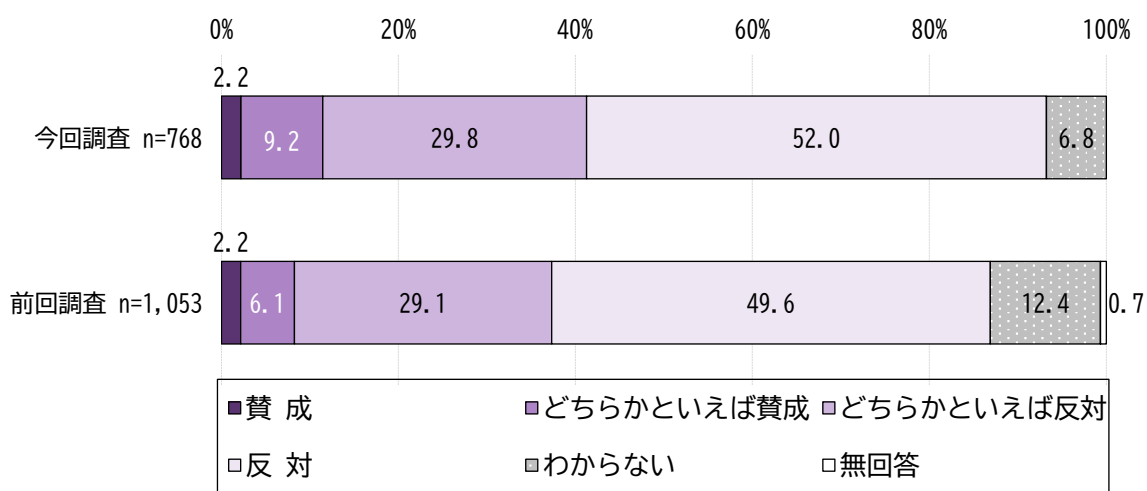
【男女比較】



問3 「男は仕事、女は家庭」という、性別によって役割を固定する考え方について、あなたはどのように思いますか。考えに近いものを1つ選んでください。

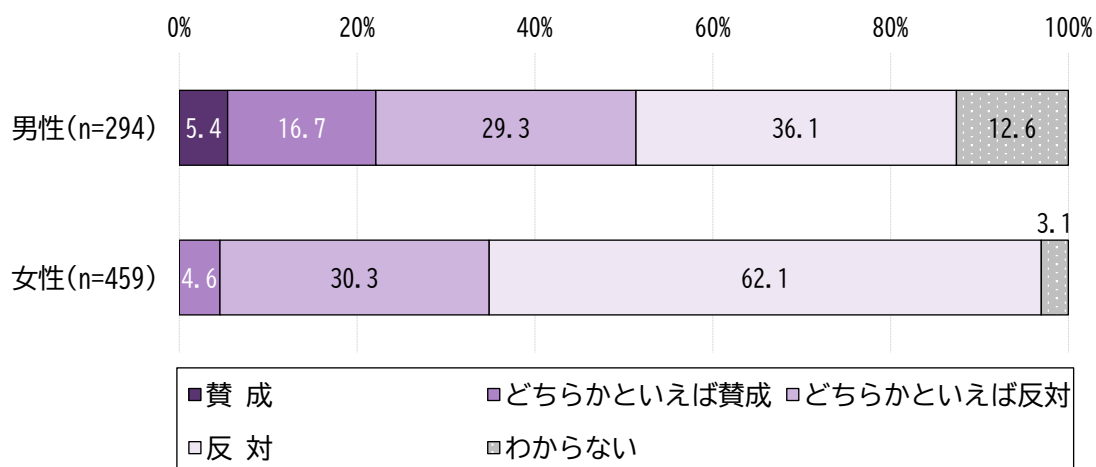
「男は仕事、女は家庭」という、性別によって役割を固定する考え方については、「賛成」が 2.2%、「どちらかといえば賛成」が 9.2%、「どちらかといえば反対」が 29.8%、「反対」が 52.0%、「わからない」が 6.8%となっており、前回調査と同様の傾向がみられます。

【前回比較】



男女比較では「賛成」については、男性が 5.4%に対して、女性は 0%となっています。また、「反対」については、女性が男性より 26.0 ポイント高くなっています。

【男女比較】



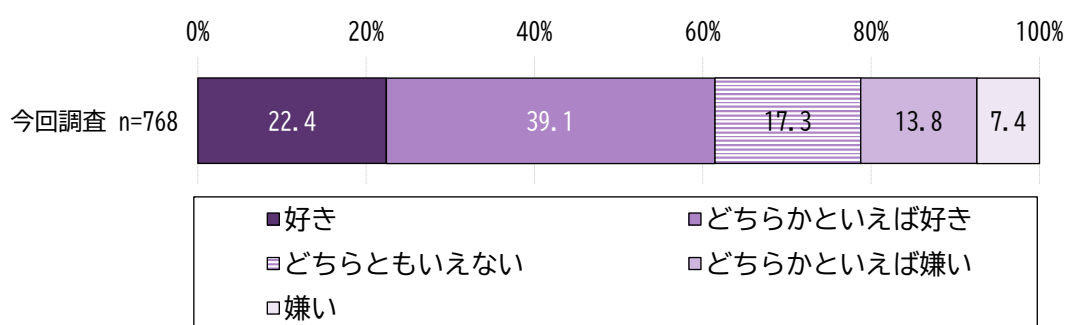
3. 自分のことや将来について

問4 あなたは自分のことや社会について、どのように考えていますか。(1) から (7) の項目にあてはまる番号を1つ選んでください。

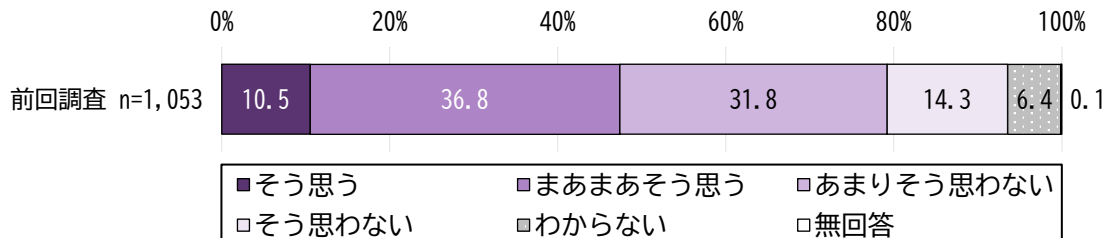
(1) あなたは自分のことが好きですか。

自分のことが好きかについては、「好き」が 22.4%、「どちらかといえば好き」が 39.1%、「どちらともいえない」が 17.3%、「どちらかといえば嫌い」が 13.8%、「嫌い」が 7.4%となっています。

【今回調査】

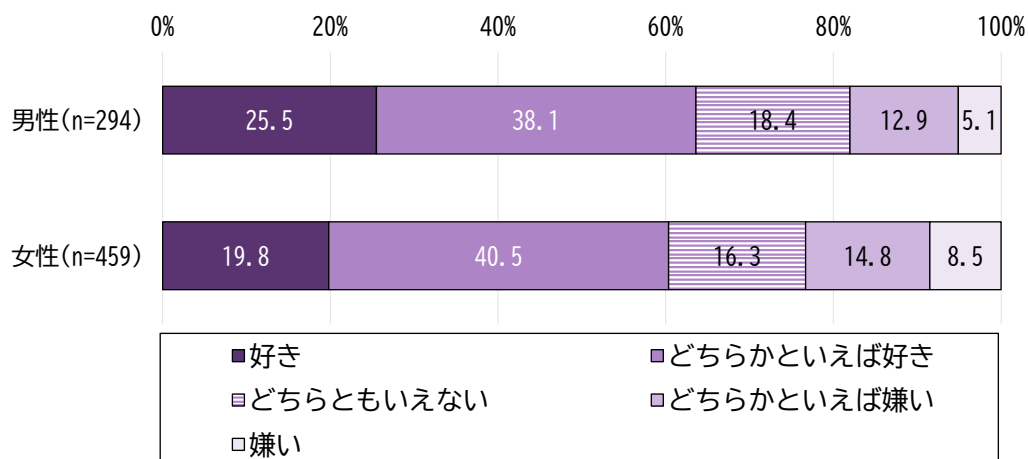


【前回調査】 ※選択肢を変更したため、比較は行わず参考として掲載



男女比較では「好き」については、男性が女性より 5.7 ポイント高くなっています。

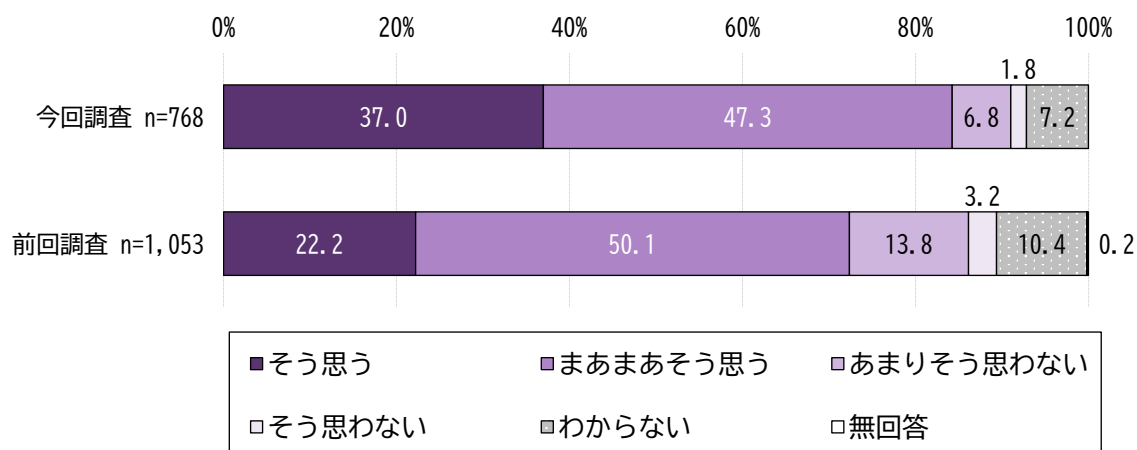
【男女比較】



(2) あなたは周りの人から大切にされていると思いますか。

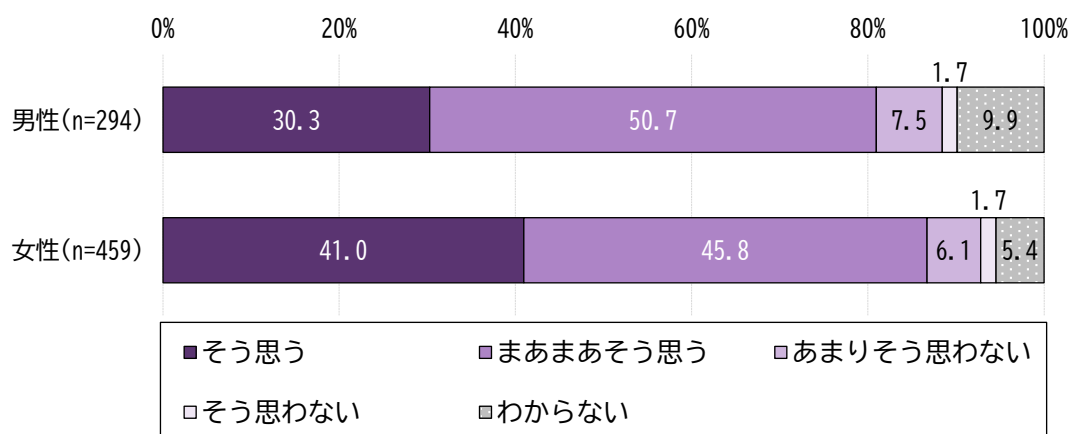
自分が周りから大切にされているかについては、「そう思う」が37.0%、「まあまあそう思う」が47.3%、「あまりそう思わない」が6.8%、「そう思わない」が1.8%、「わからない」が7.2%となっており、前回調査に比べ、「そう思う」が14.8ポイント増加し、「あまりそう思わない」が7.0ポイント減少しています。

【前回比較】



男女比較では「そう思う」については、女性が男性より 10.7 ポイント高くなっています。

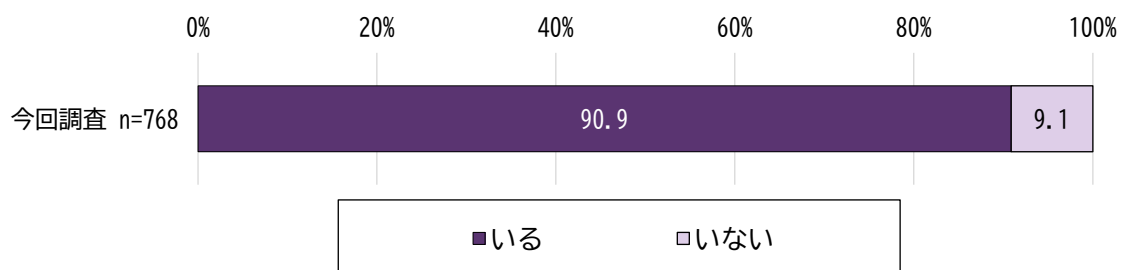
【男女比較】



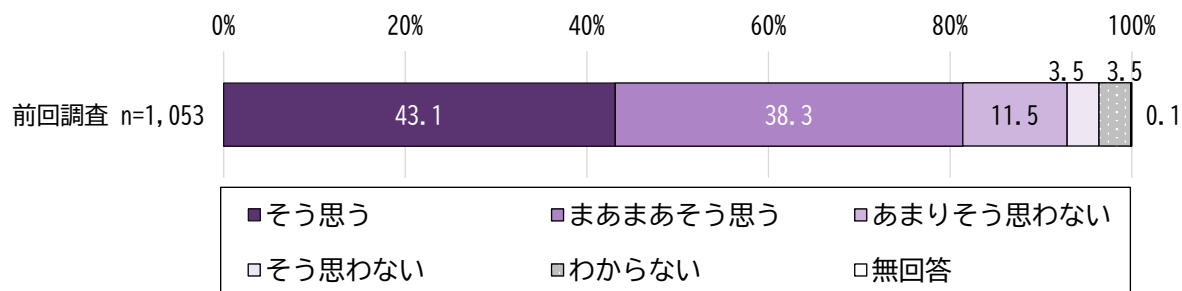
(3) あなたは悩みや心配事を相談できる人がいますか。

悩みや心配事を相談できる人がいるかについては、「いる」が 90.9%、「いない」が 9.1%となっています。

【今回調査】

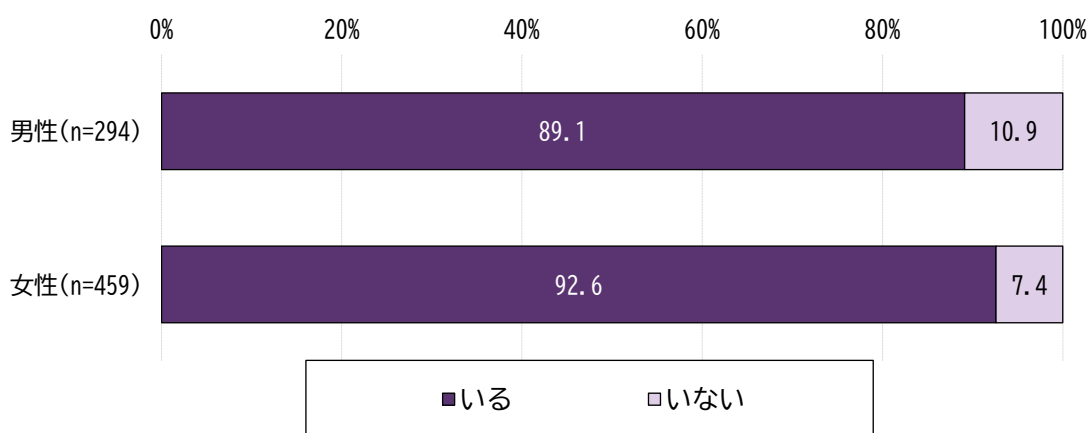


【前回調査】 ※選択肢を変更したため、比較は行わず参考として掲載



男女比較では、同様の傾向がみられます。

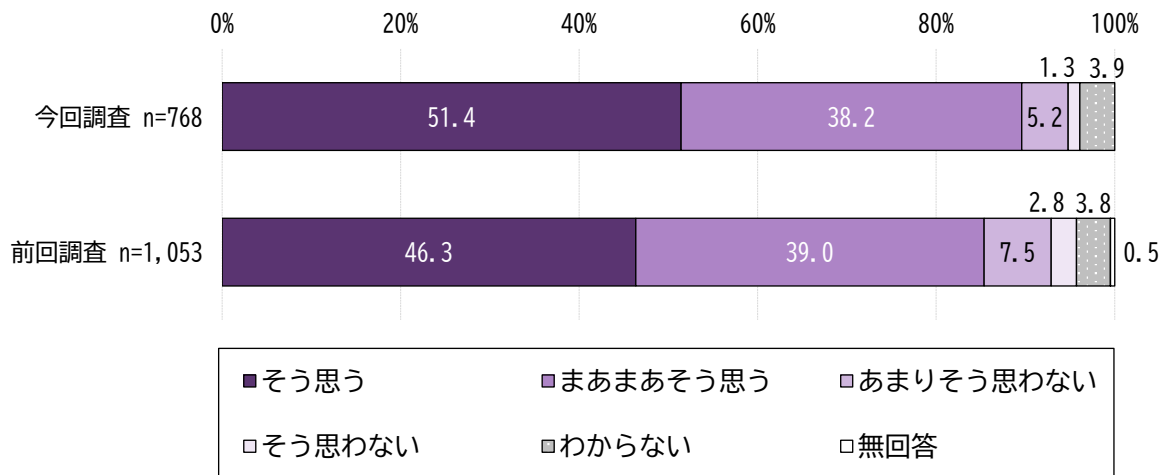
【男女比較】



(4) あなたは世の中の役に立つことがしたいと思いますか。

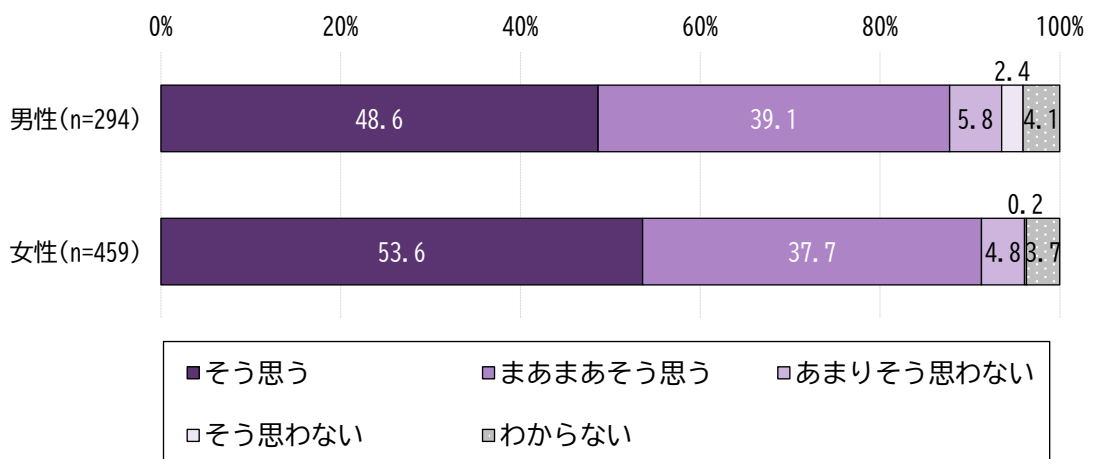
世の中の役に立つことがしたいかについては、「そう思う」が51.4%、「まあまあそう思う」が38.2%、「あまりそう思わない」が5.2%、「そう思わない」が1.3%、「わからない」が3.9%となっており、前回調査に比べ、「そう思う」が5.1ポイント増加しています。

【前回比較】



男女比較では「そう思う」については、女性が男性より5.0ポイント高くなっています。

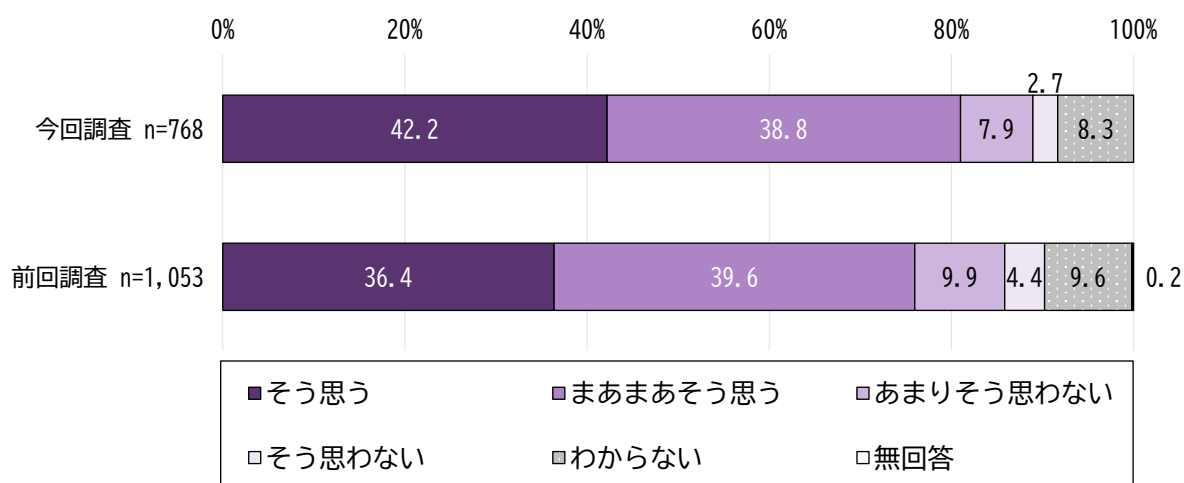
【男女比較】



(5) あなたの夢は努力すればかなうと思いますか。

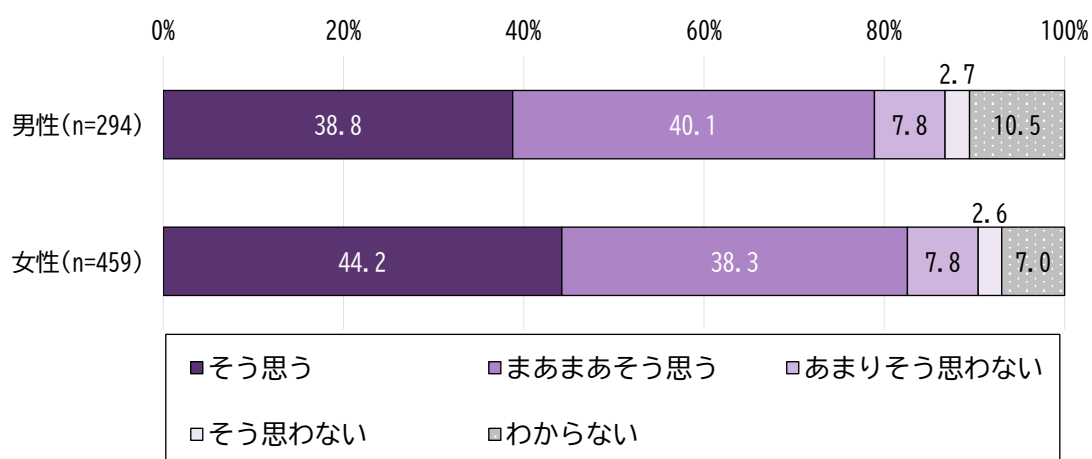
自分の夢は努力すればかなうかについては、「そう思う」が42.2%、「まあまあそう思う」が38.8%、「あまりそう思わない」が7.9%、「そう思わない」が2.7%、「わからない」が8.3%となっており、前回調査に比べ、「そう思う」が5.8ポイント増加しています。

【前回比較】



男女比較では「そう思う」については、女性が男性より5.4ポイント高くなっています。

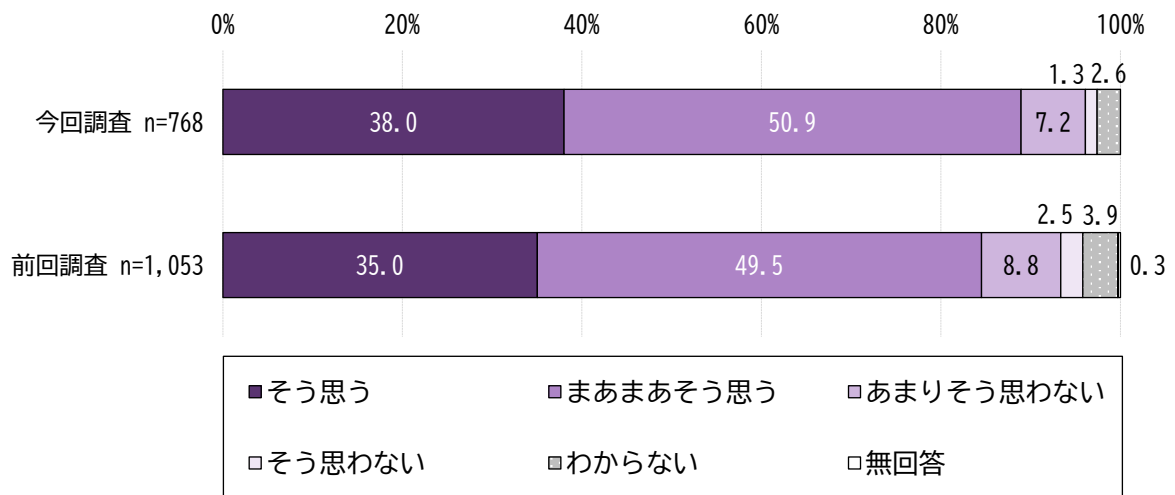
【男女比較】



(6) あなたは大変なことがあってもがんばろうと思いますか。

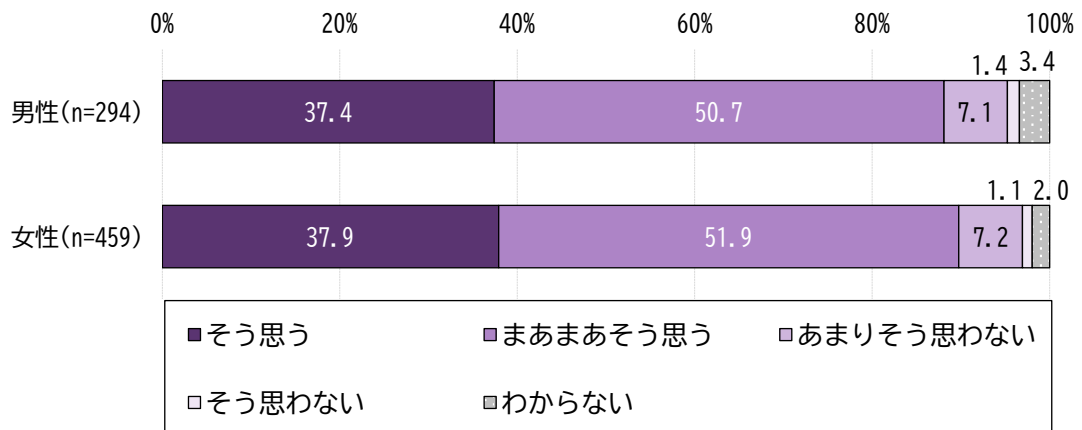
大変なことがあってもがんばろうと思うかについては、「そう思う」が38.0%、「まあまあそう思う」が50.9%、「あまりそう思わない」が7.2%、「そう思わない」が1.3%、「わからない」が2.6%となっており、前回調査と同様の傾向がみられます。

【前回比較】



男女比較では、男女同様の傾向がみられます。

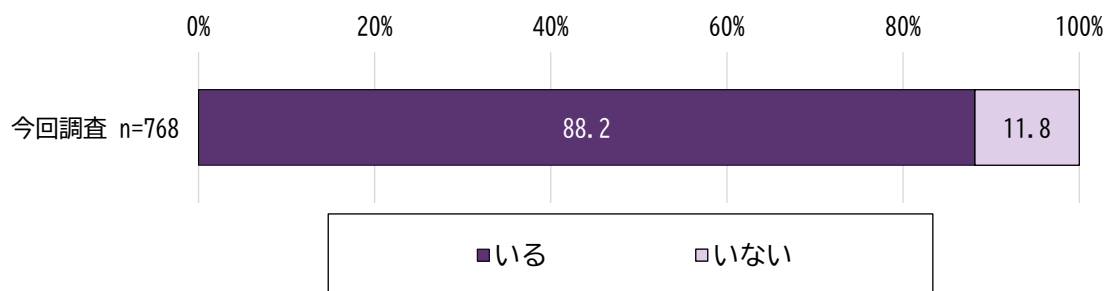
【男女比較】



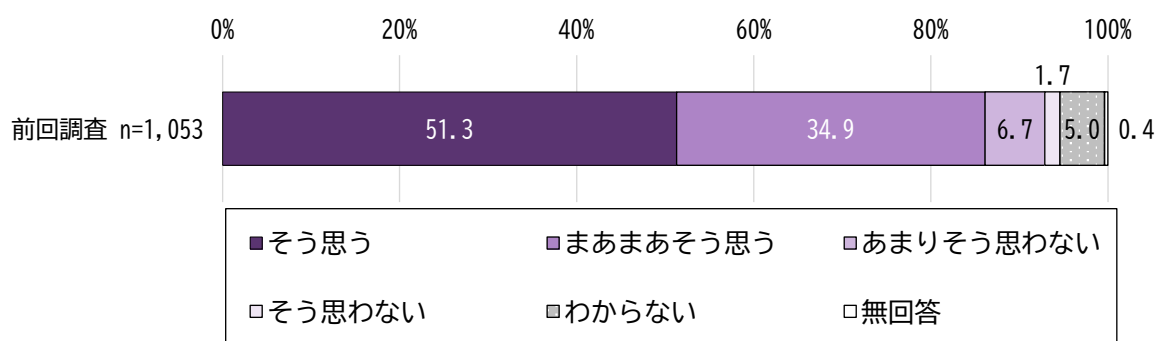
(7) あなたは世の中に尊敬できる大人がいますか。

世の中に尊敬できる大人がいるかについては、「いる」が 88.2%、「いない」が 11.8%となっています。

【今回調査】

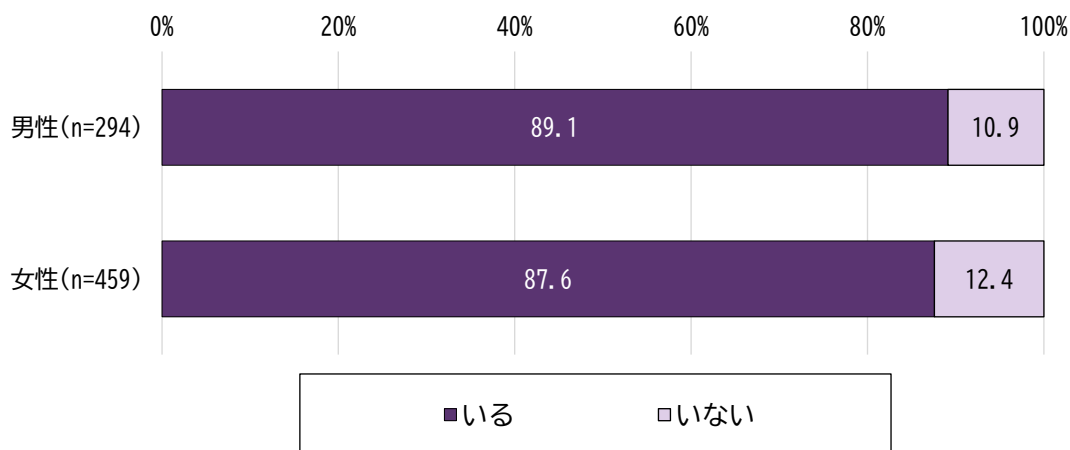


【前回調査】※選択肢を変更したため、比較は行わず参考として掲載



男女比較では、男女同様の傾向がみられます。

【男女比較】

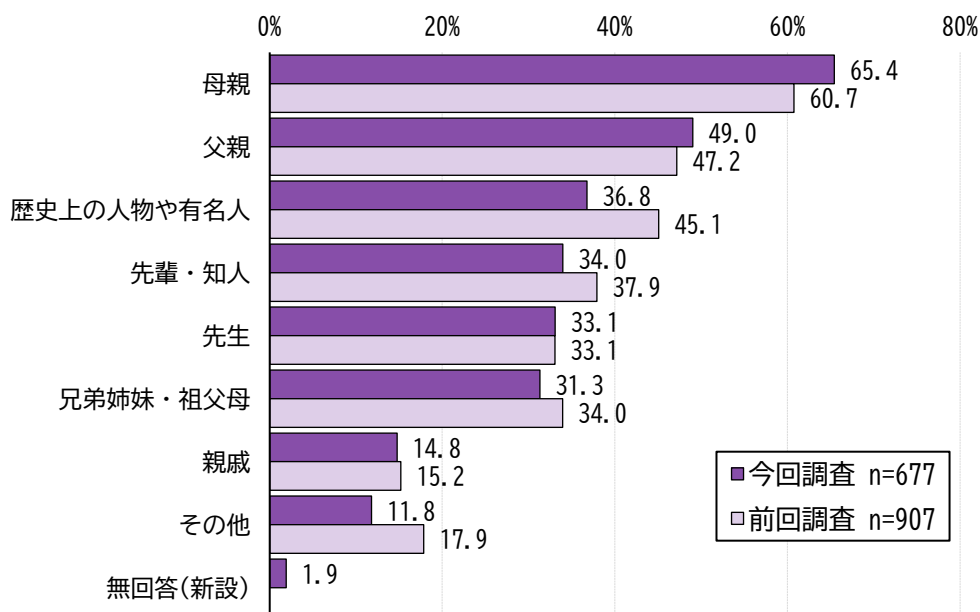


(7) —2 「いる」を選択した方のみお聞きします。

尊敬できる大人は誰か当てはまる番号をすべて選んでください。(複数選択可)

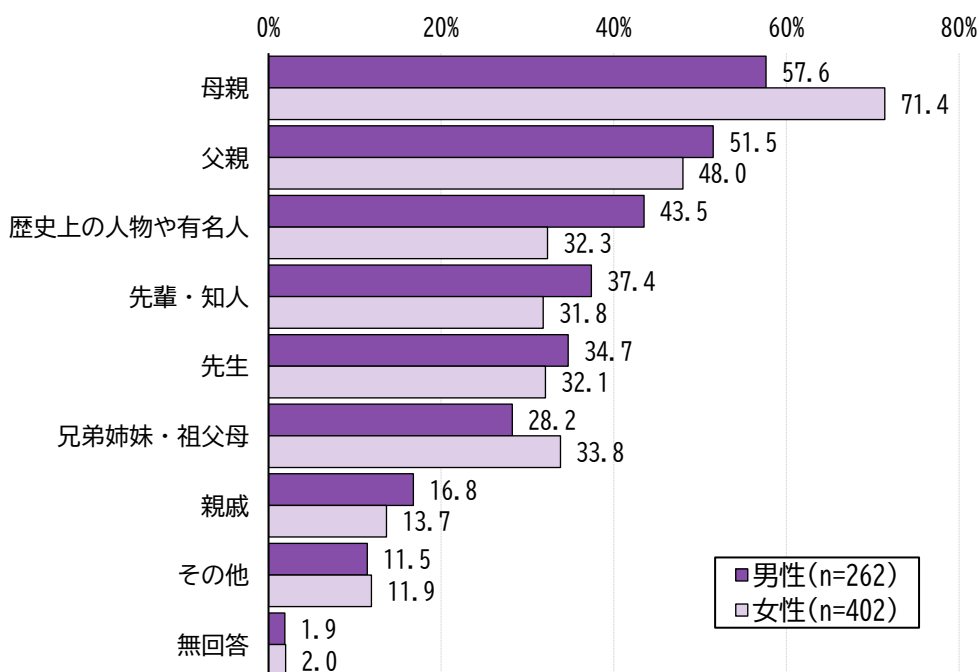
尊敬できる大人は誰かについては、「母親」が 65.4%と最も高く、次いで「父親」が 49.0%、「歴史上の人物や有名人」が 36.8%となっており、前回調査との比較では、「歴史上の人物や有名人」が 8.3 ポイント減少しています。

【前回比較】



男女比較では、「母親」については女性が男性より 13.8 ポイント高く、「歴史上の人物や有名人」については男性が女性より 11.2 ポイント高くなっています。

【男女比較】



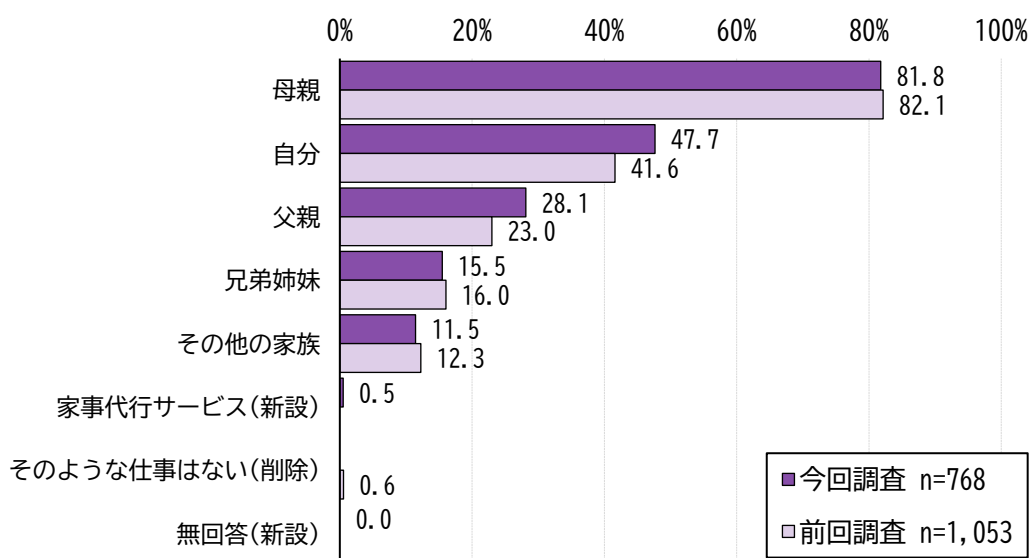
問5 あなたの家庭では、次にあげる項目（１）から（５）を主に行っているのは誰ですか（複数選択可）。ただし、同程度に協力して行っている場合は、その人すべての番号を選んでください。

※ 前回調査の値について：高校生（単一回答）と大学生（複数回答）を合算し集計

（１）食事の用意・後片付け

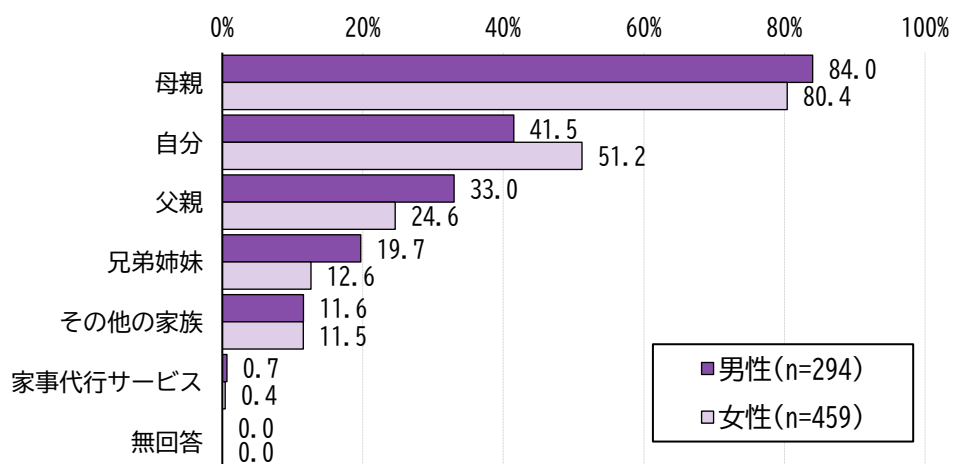
食事の用意・後片付けを主に行っている人については、「母親」が81.8%と最も高く、次いで「自分」が47.7%、「父親」が28.1%となっており、前回調査と同様の傾向がみられます。

【前回比較】



男女比較では、「自分」については女性が男性を9.7ポイント上回り、「父親」については男性が女性より8.4ポイント高くなっています。

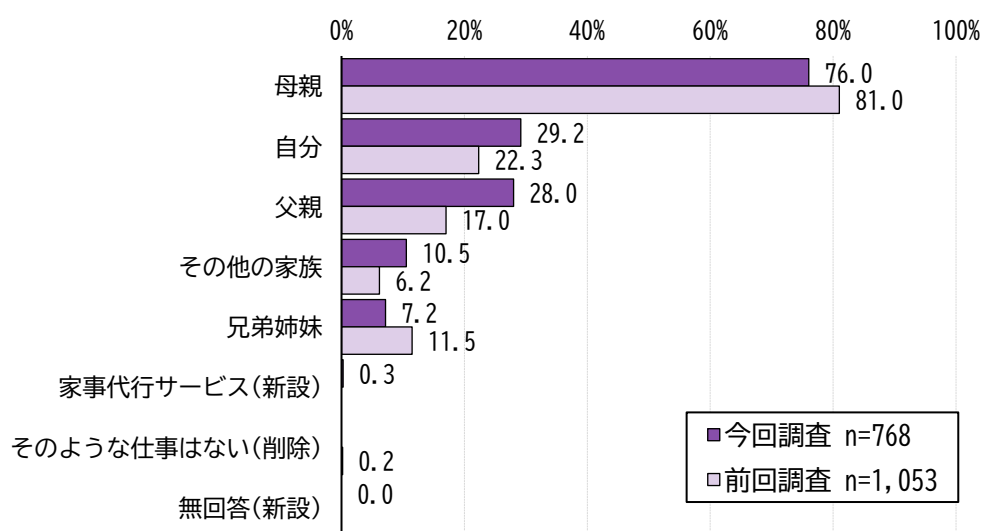
【男女比較】



(2) 洗濯

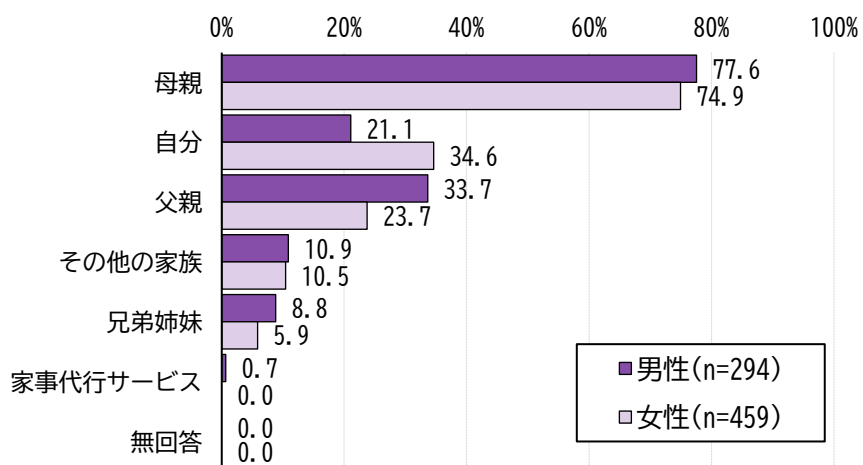
洗濯を主に行っている人については、「母親」が76.0%と最も高く、次いで「自分」が29.2%、「父親」が28.0%となっており、前回調査に比べ、「父親」が11.0ポイント増加しています。

【前回比較】



男女比較では、「自分」については女性が男性より13.5ポイント高く、「父親」については男性が女性より10.0ポイント高くなっています。

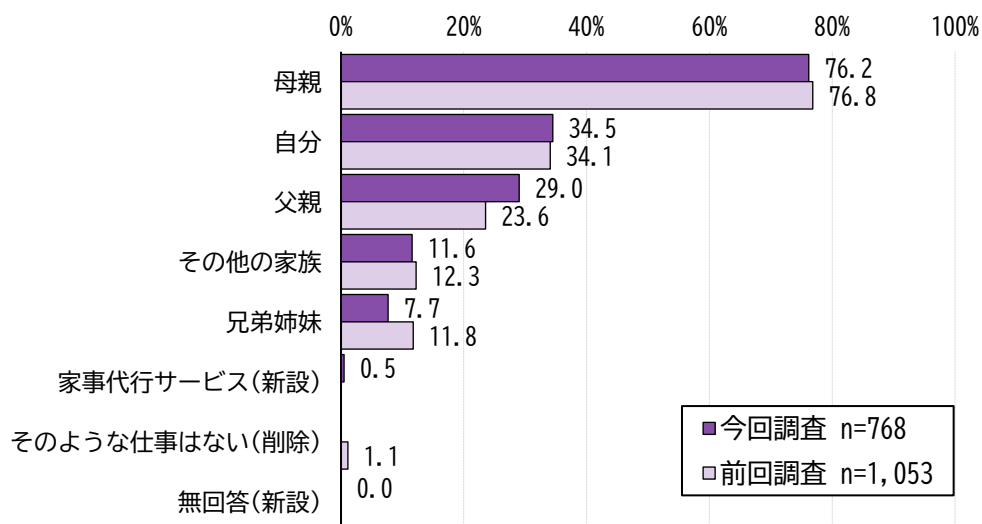
【男女比較】



(3) 掃除

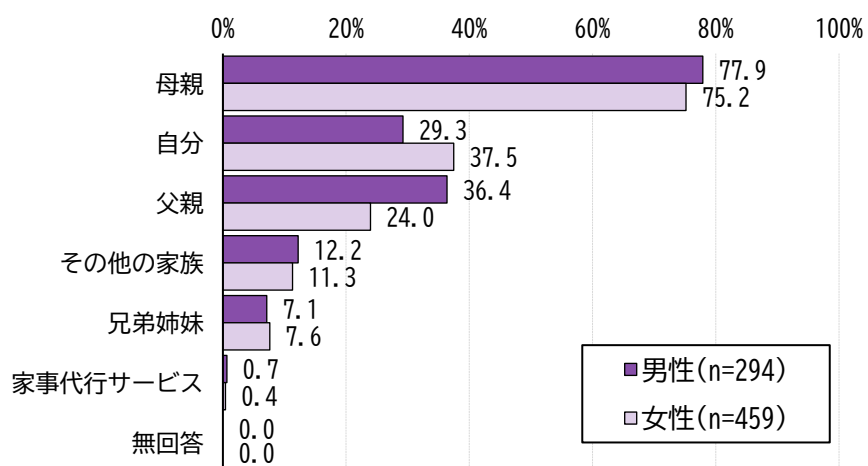
掃除を主に行っている人については、「母親」が76.2%と最も高く、次いで「自分」が34.5%、「父親」が29.0%となっており、前回調査と同様の傾向がみられます。

【前回比較】



男女比較では、「自分」については女性が男性より8.2ポイント高く、「父親」については男性が女性より12.4ポイント高くなっています。

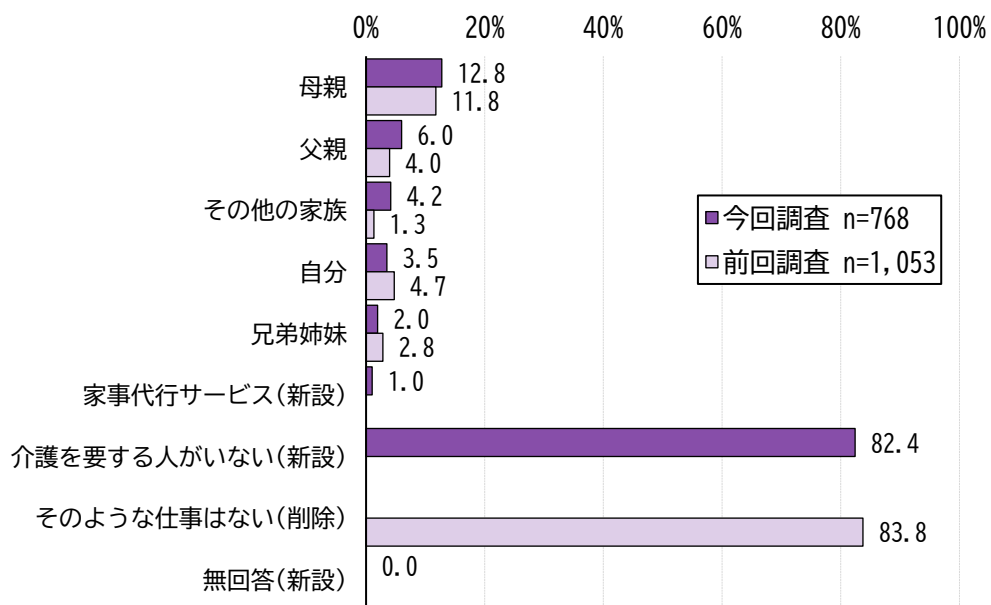
【男女比較】



(4) 介護

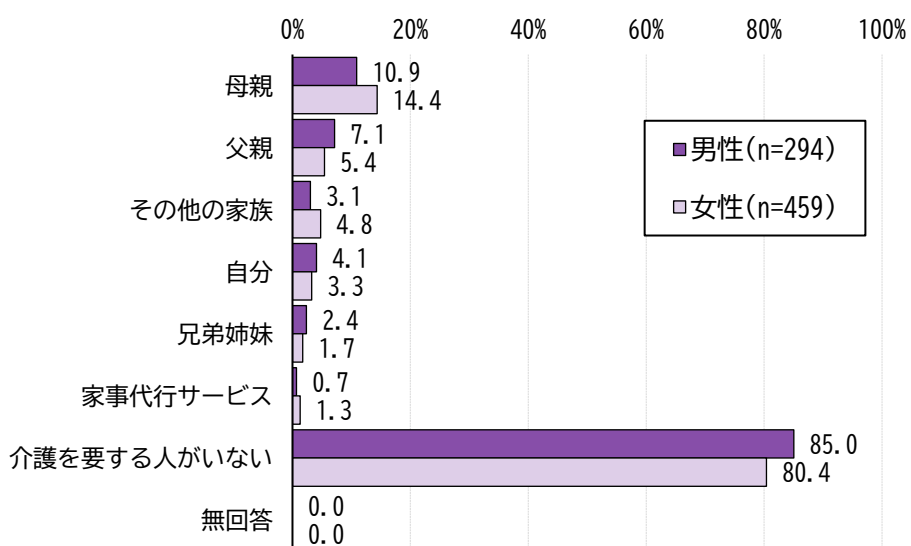
介護については、「介護を要する人がいない」が82.4%となっており、介護を行っている人では、「母親」が12.8%と最も高く、次いで「父親」が6.0%、「その他の家族」が4.2%となっており、前回調査と同様の傾向がみられます。

【前回比較】



男女比較では、男女とも同様の傾向がみられます。

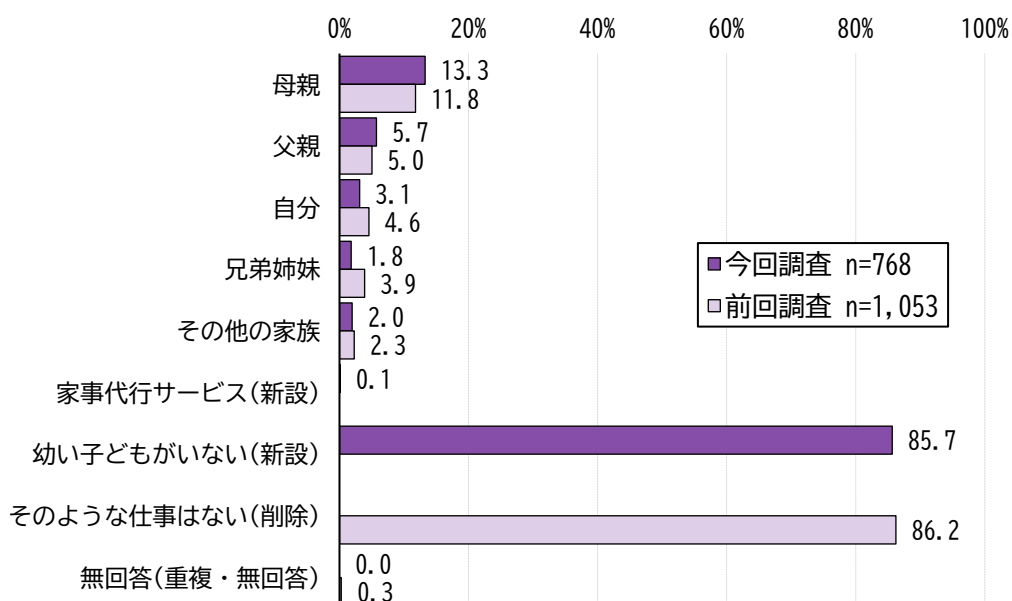
【男女比較】



(5) 幼い子どもの世話

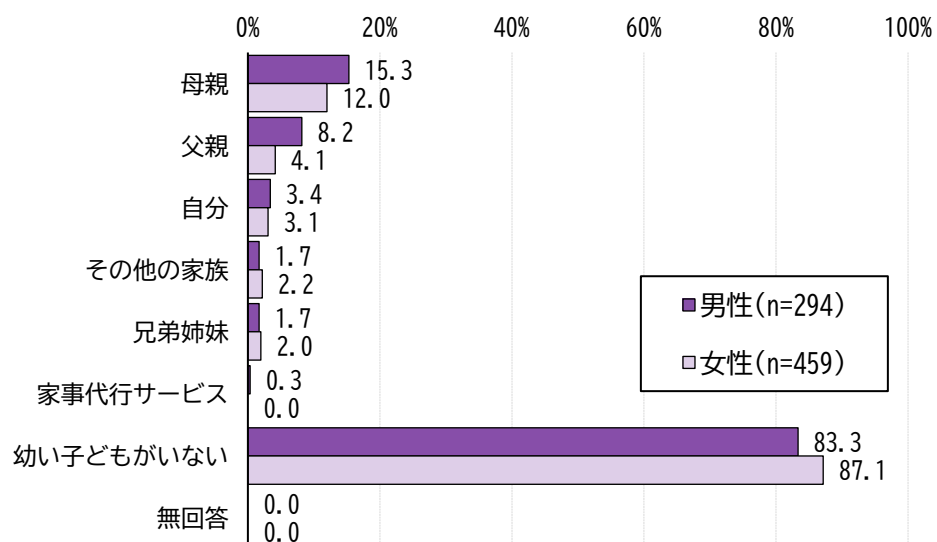
幼い子どもの世話については、「幼い子どもがいない」が85.7%となっており、幼い子どもの世話を行っている人では、「母親」が13.3%と最も高く、次いで「父親」が5.7%、「自分」が3.1%となっており、前回調査と同様の傾向がみられます。

【前回比較】



男女比較では、男女とも同様の傾向がみられます。

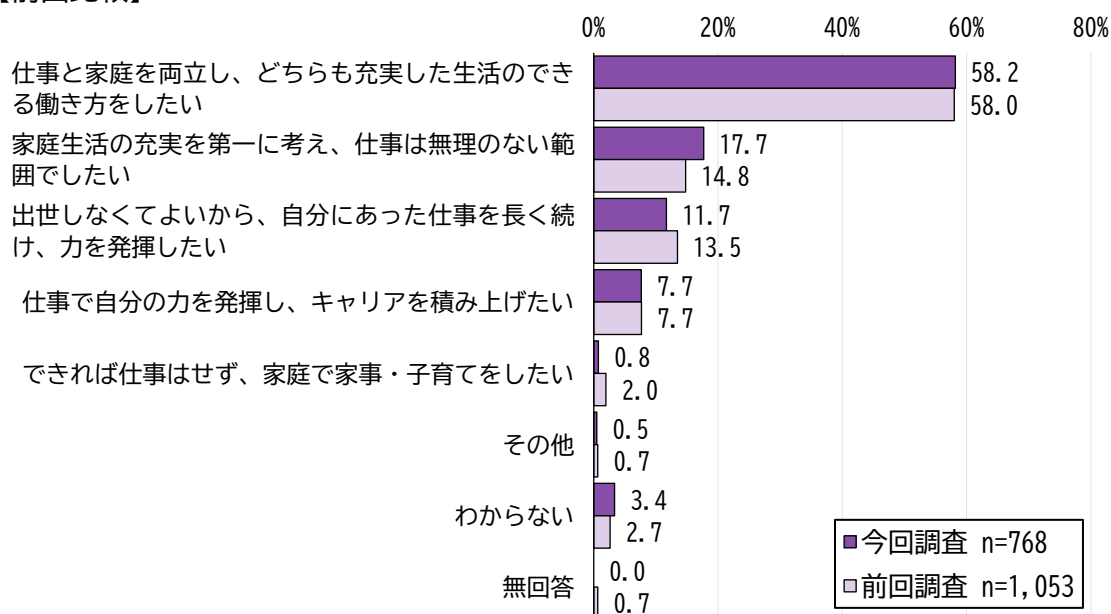
【男女比較】



問6 あなたが理想と考える将来の働き方はどのようなものですか。考えに近いものを1つ選んでください。

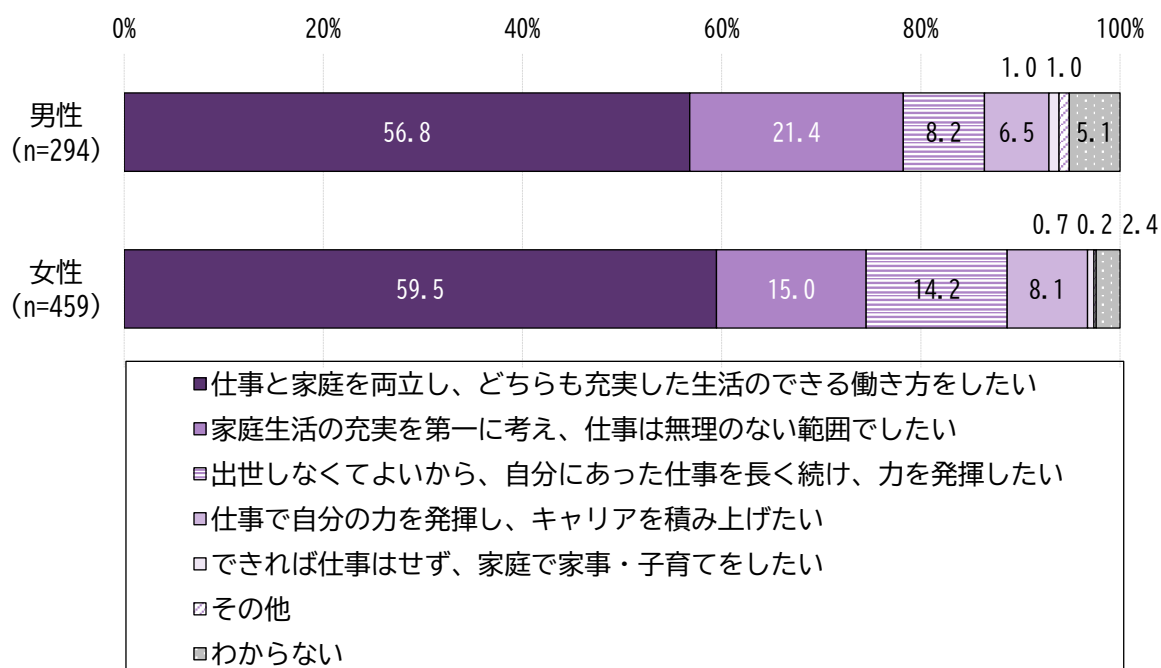
理想と考える将来の働き方については、「仕事と家庭を両立し、どちらも充実した生活のできる働き方をしたい」が58.2%と最も高くなっており、次いで「家庭生活の充実を第一に考え、仕事は無理のない範囲でしたい」が17.7%となっており、前回調査と同様の傾向がみられます。

【前回比較】



男女比較では、「家庭生活の充実を第一に考え、仕事は無理のない範囲でしたい」については男性が女性より6.4ポイント高く、「出世しなくてよいから、自分にあった仕事を長く続け、力を発揮したい」については女性が男性より6.0ポイント高くなっています。

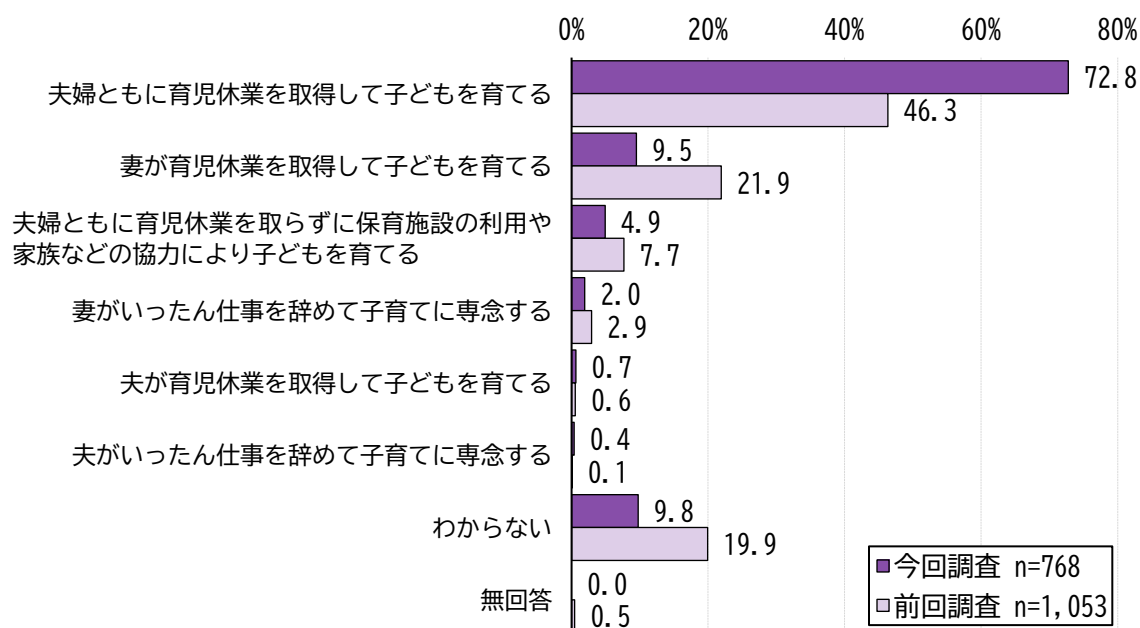
【男女比較】



問7 もしあなたが将来子どもを持ったとき、子育てをどのように行っていきたいと思いますか。考えに近いものを1つ選んでください。

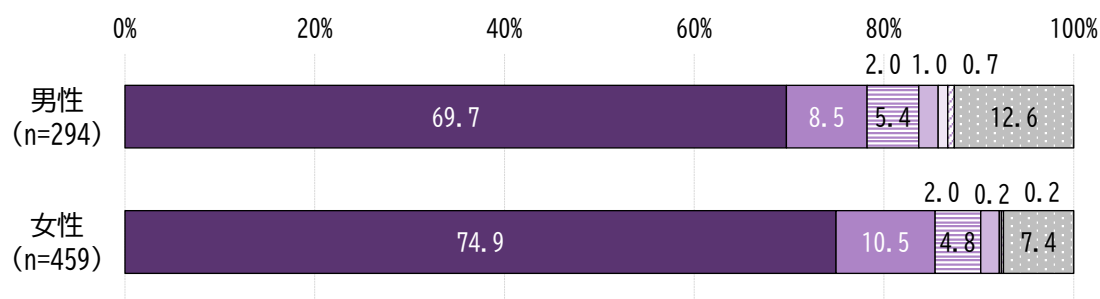
理想の子どもの育て方については、「夫婦ともに育児休業を取得して子どもを育てる」が72.8%と最も高くなっており、次いで「妻が育児休業を取得して子どもを育てる」が9.5%となっており、前回調査と比べ、「夫婦ともに育児休業を取得して子どもを育てる」が26.5ポイント増加しています。

【前回比較】



男女比較では、「夫婦ともに育児休業を取得して子どもを育てる」については女性が男性より5.2ポイント高くなっています。

【男女比較】



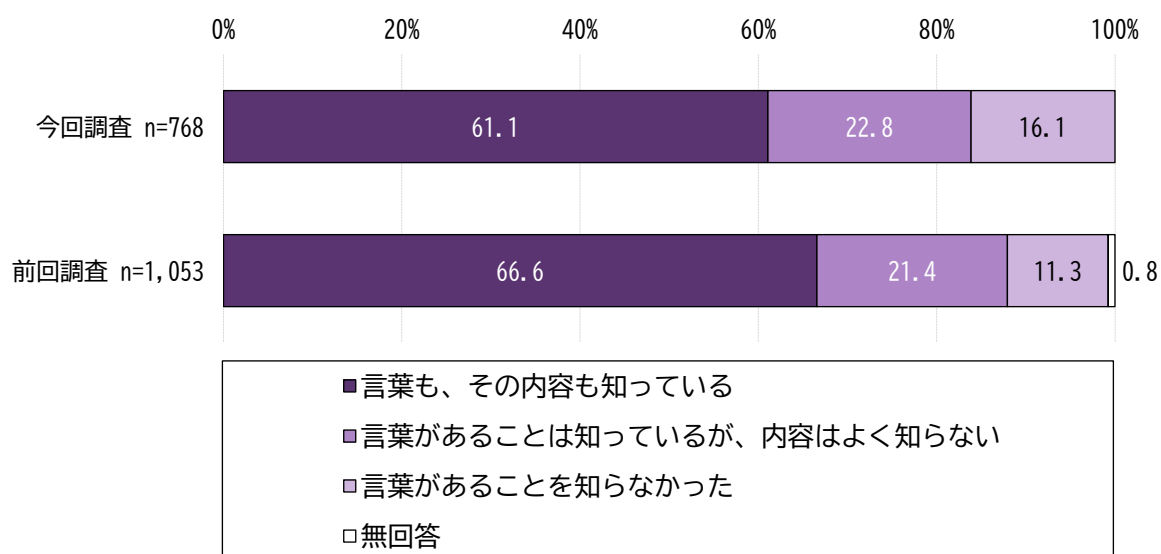
- 夫婦ともに育児休業を取得して子どもを育てる
- 妻が育児休業を取得して子どもを育てる
- 夫婦ともに育児休業を取らずに保育施設の利用や家族などの協力により子どもを育てる
- 妻がいったん仕事を辞めて子育てに専念する
- 夫が育児休業を取得して子どもを育てる
- 夫がいったん仕事を辞めて子育てに専念する
- わからない

4. デート DV について

問8 あなたは、「デート DV」（交際相手からの暴力）について、知っていますか？

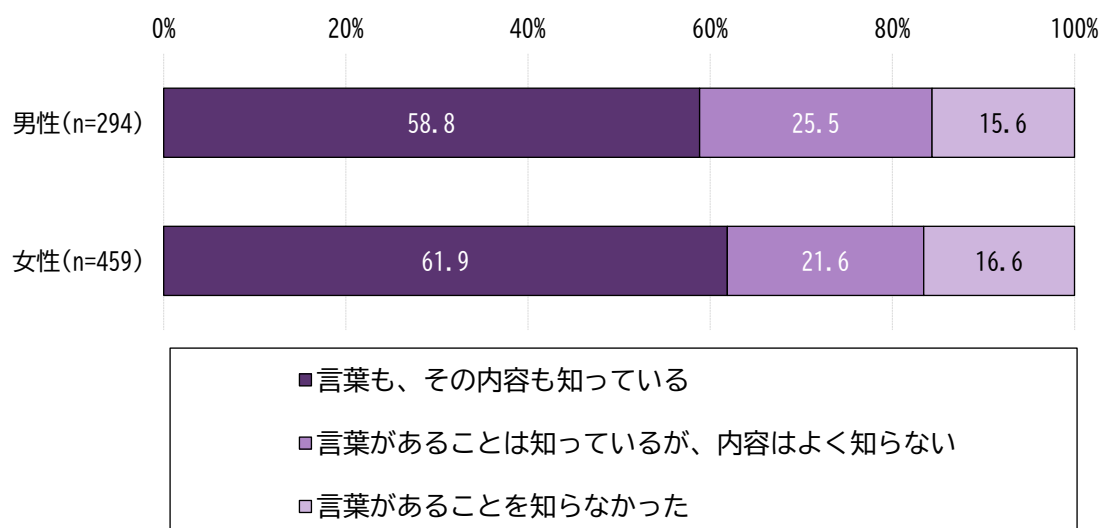
デート DV については、「言葉も、その内容も知っている」が 61.1%と最も高くなっており、次いで「言葉があることは知っているが、内容はよく知らない」が 22.8%、「言葉があることを知らなかった」が 16.1%となっており、前回調査と比べ、「言葉も、その内容も知っている」が 5.5 ポイント減少しています。

【前回比較】



男女比較では、男女とも同様の傾向がみられます。

【男女比較】

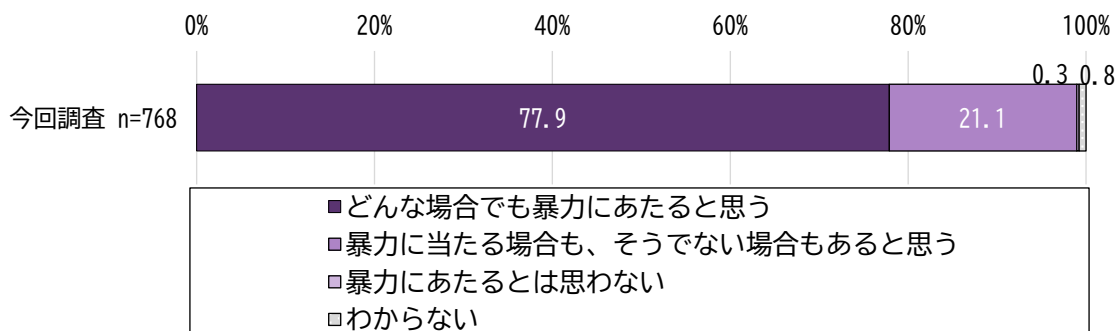


問9 あなたは、交際相手の次の行為について、暴力だと思いますか？考えに最も近いものの番号を、それぞれの項目について1つ選んでください。

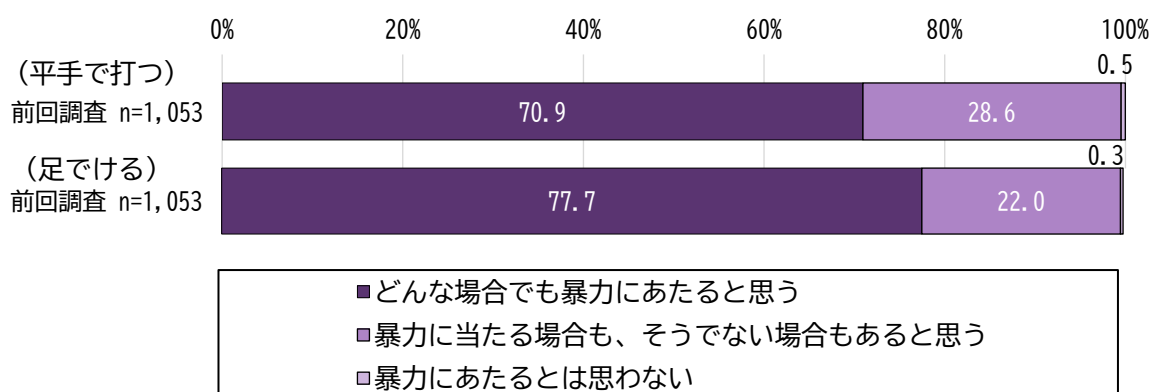
(1) 平手で打つ、足でける

平手で打つ、足でける行為については、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が77.9%と最も高くなっており、次いで「暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う」が21.1%、「暴力にあたるとは思わない」が0.3%となっています。

【今回調査】

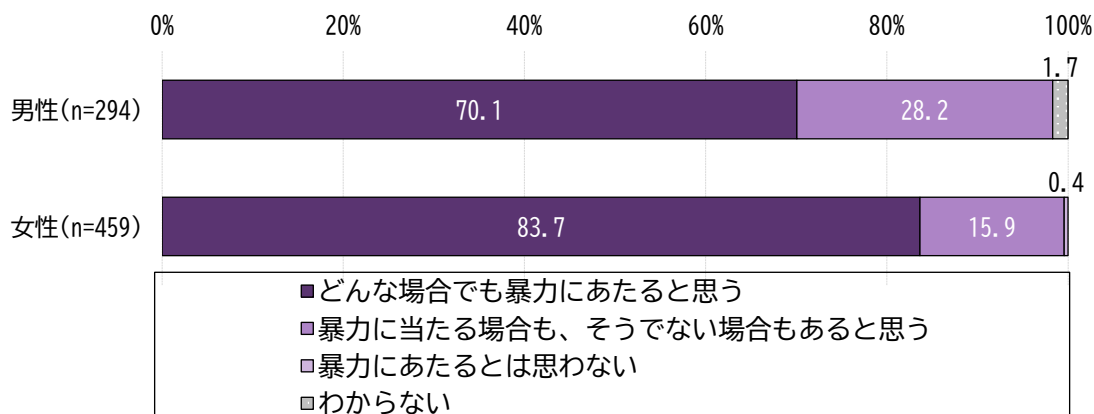


【前回調査（参考）】



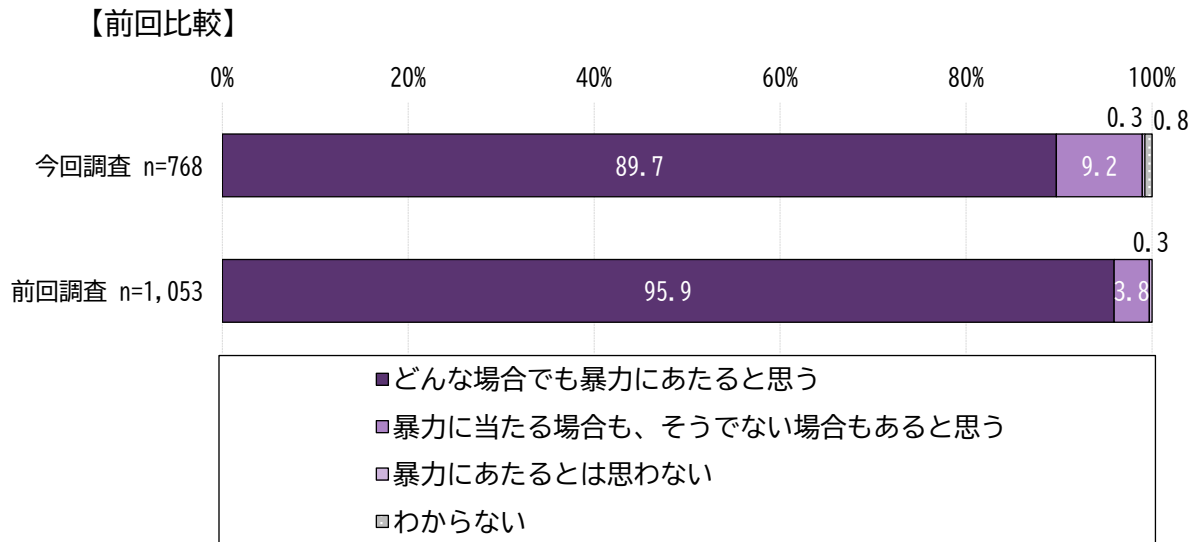
男女比較では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」については女性が男性より13.6ポイント高くなっています。

【男女比較】

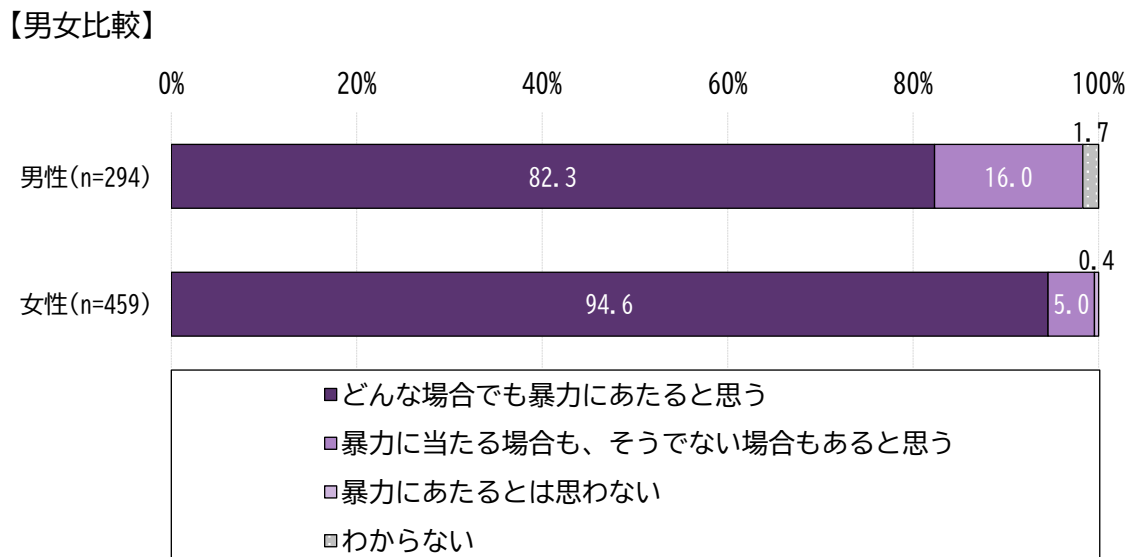


(2) 身体を傷つける可能性のあるものでなぐる

身体を傷つける可能性のあるものでなぐる行為については、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が 89.7%と最も高くなっており、次いで「暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う」が 9.2%、「暴力にあたるとは思わない」が 0.3%となっており、前回調査と比べ、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が 6.2 ポイント減少しています。



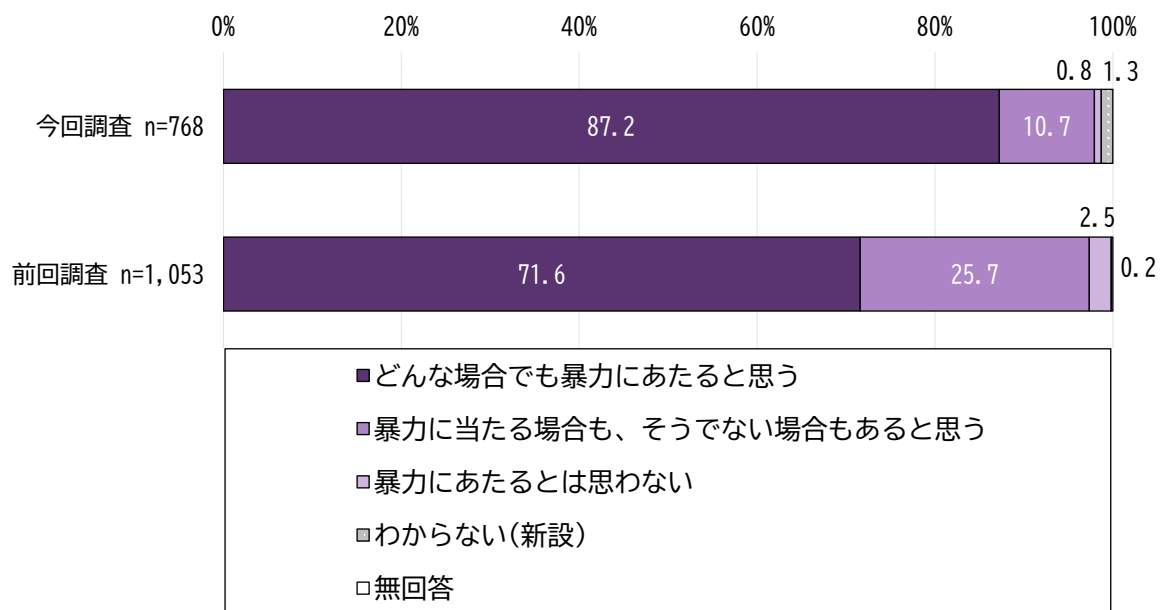
男女比較では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」については、女性が男性より 12.3 ポイント高くなっています。



(3) なぐるふりをしておどす、刃物などをつきつけておどす

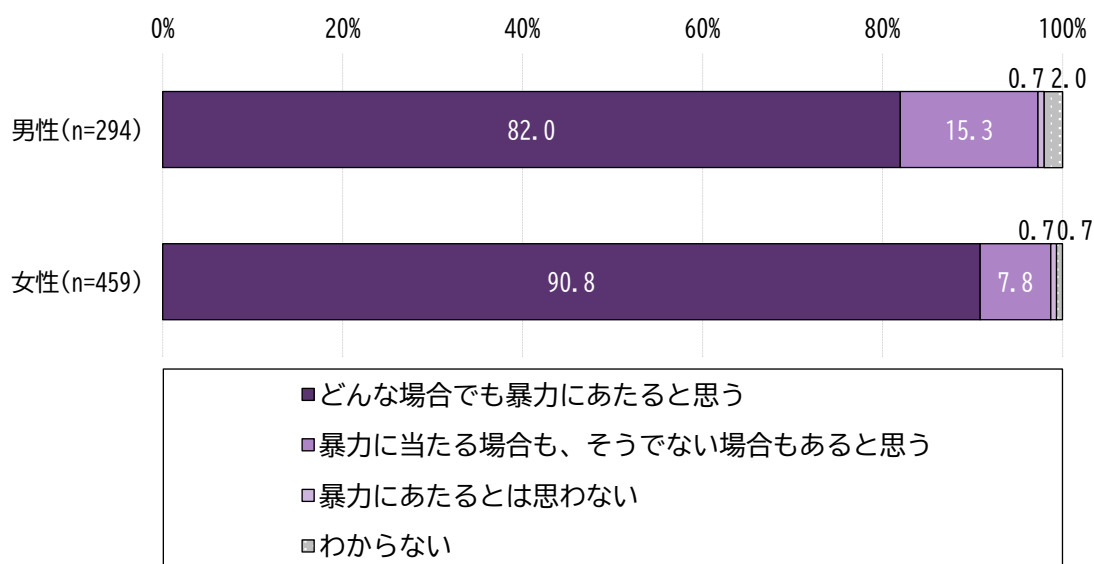
なぐるふりをしておどす、刃物などをつきつけておどす行為については、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が87.2%と最も高くなっており、次いで「暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う」が10.7%、「暴力にあたるとは思わない」が0.8%となっており、前回調査と比べ、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が15.6ポイント増加しています。

【前回比較】



男女比較では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」については、女性が男性より8.8ポイント高くなっています。

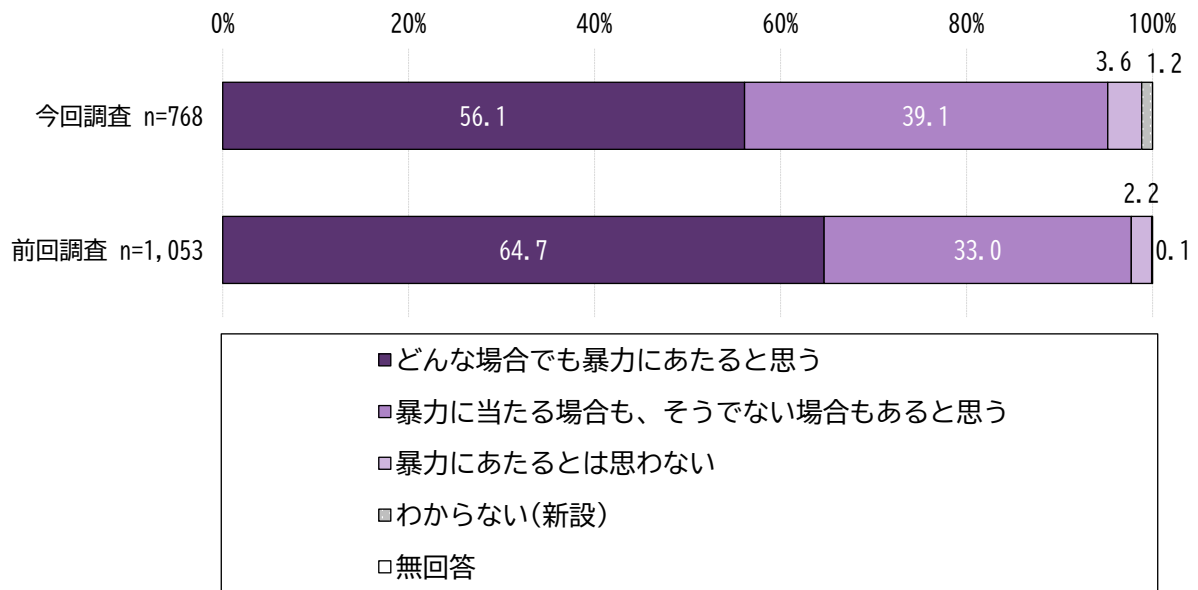
【男女比較】



(4) 大声でどなる

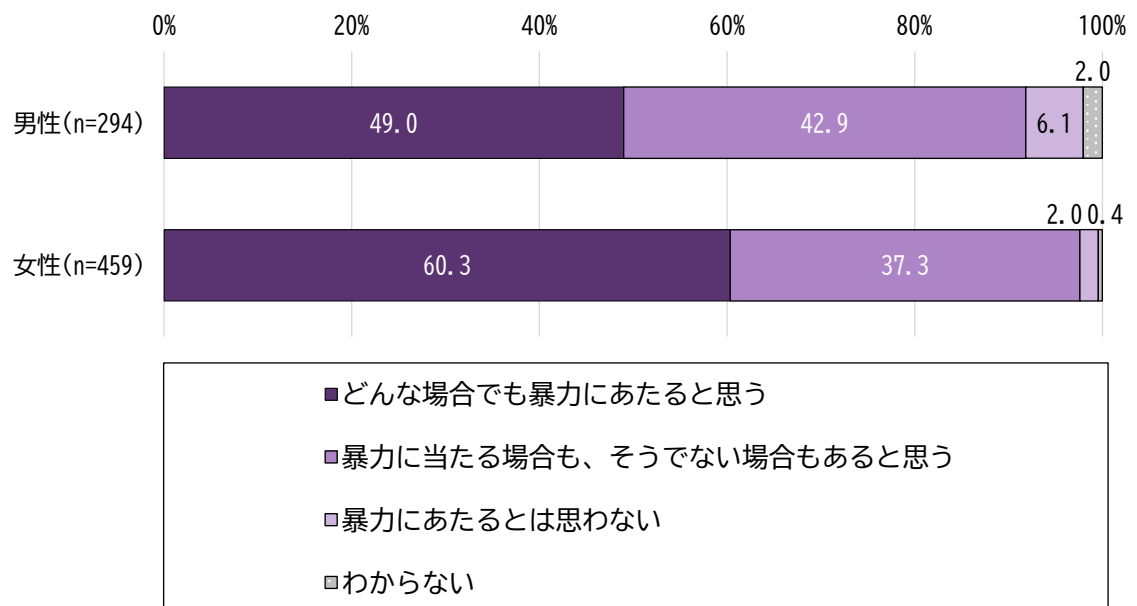
大声でどなる行為については、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が56.1%と最も高くなっており、次いで「暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う」が39.1%、「暴力にあたるとは思わない」が3.6%となっており、前回調査と比べ、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が8.6ポイント減少しています。

【前回比較】



男女比較では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」については、女性が男性より11.3ポイント高くなっています。

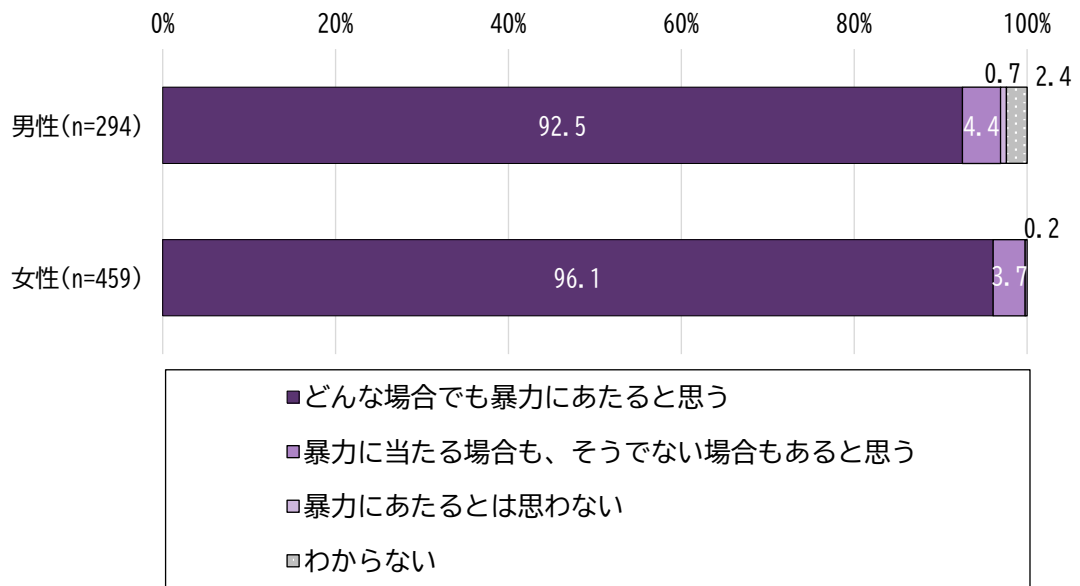
【男女比較】



(5) 相手が嫌がっているのに、性的な行為を強要する、避妊に協力しない

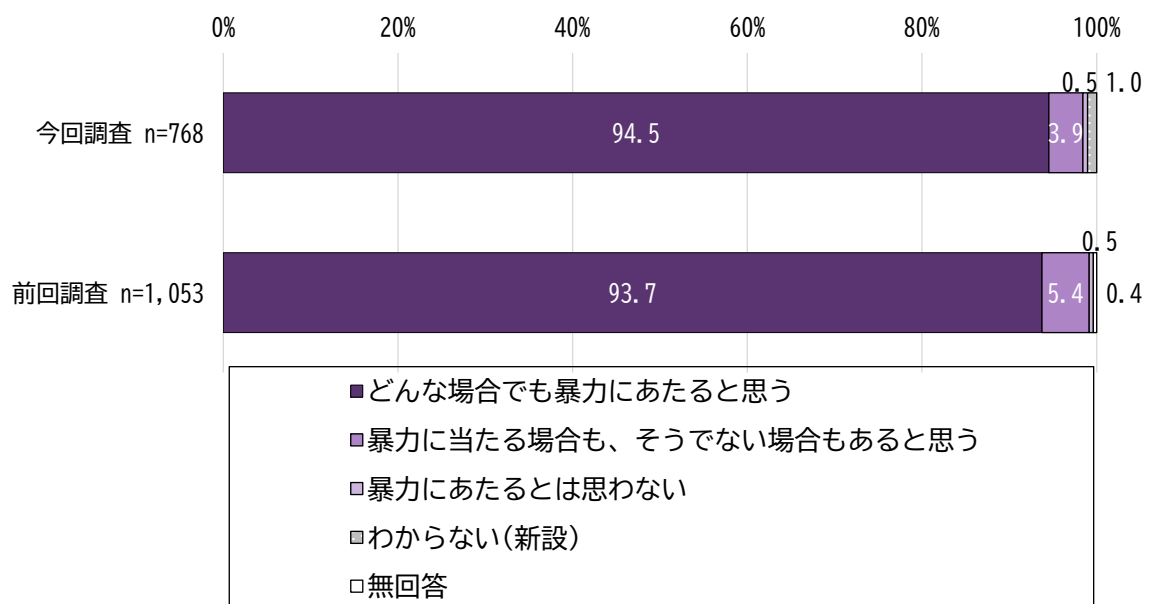
相手が嫌がっているのに、性的な行為を強要する、避妊に協力しない行為については、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が94.5%と最も高くなっており、次いで「暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う」が3.9%、「暴力にあたるとは思わない」が0.5%となっており、前回調査と同様の傾向がみられます。

【前回比較】



男女比較では、男女同様の傾向がみられます。

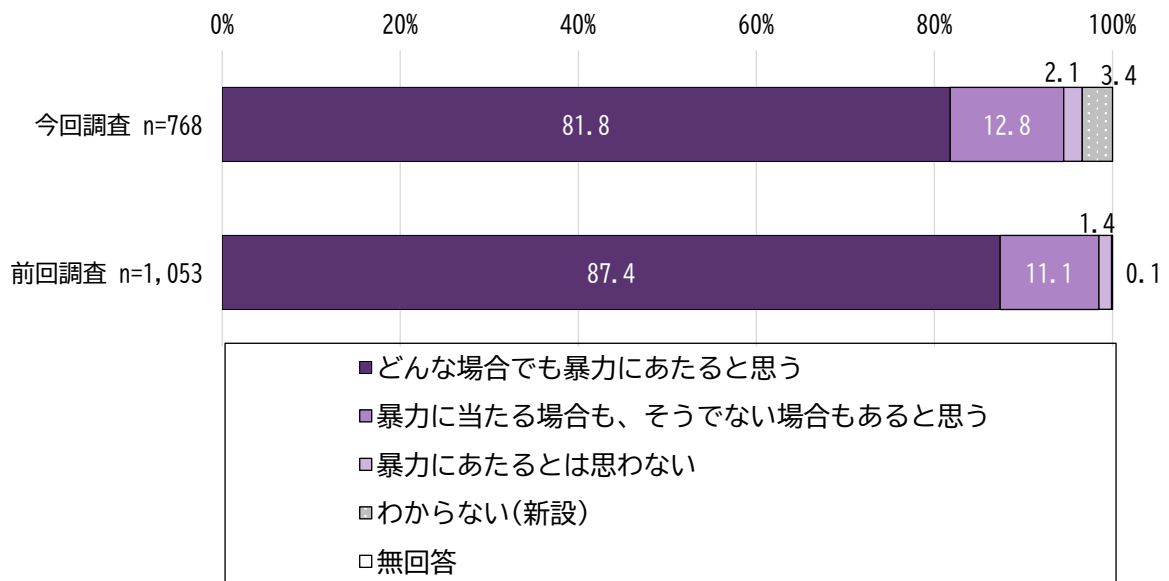
【男女比較】



(6) 見たくないのに、無理にポルノビデオやポルノ雑誌を見せる

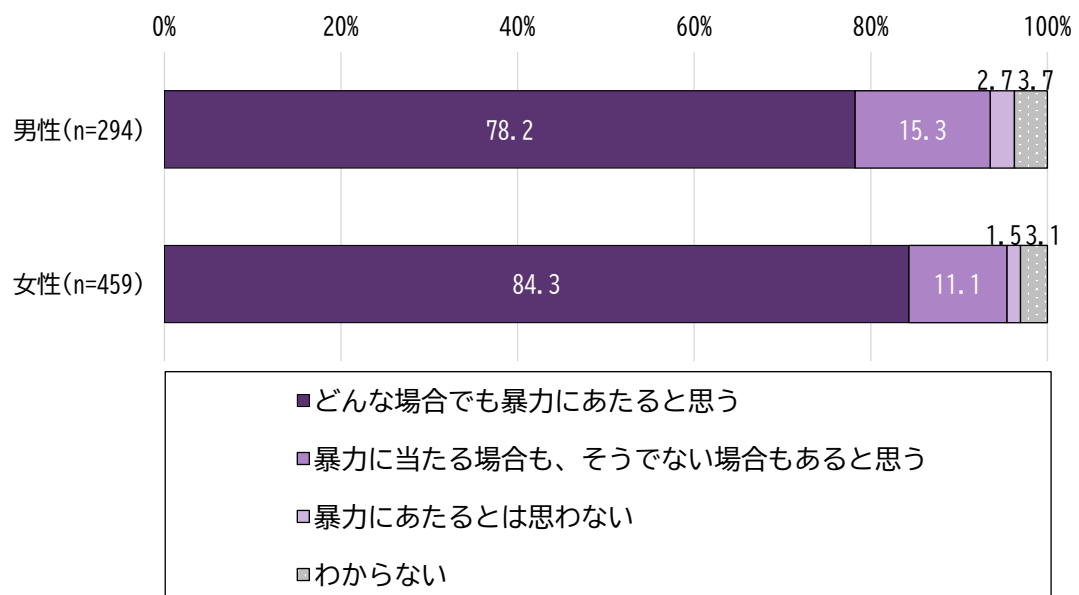
見たくないのに、無理にポルノビデオやポルノ雑誌を見せる行為については、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が81.8%と最も高くなっており、次いで「暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う」が12.8%、「暴力にあたるとは思わない」が2.1%となっており、前回調査と比べ、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が5.6ポイント減少しています。

【前回比較】



男女比較では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」については、女性が男性より6.1ポイント高くなっています。

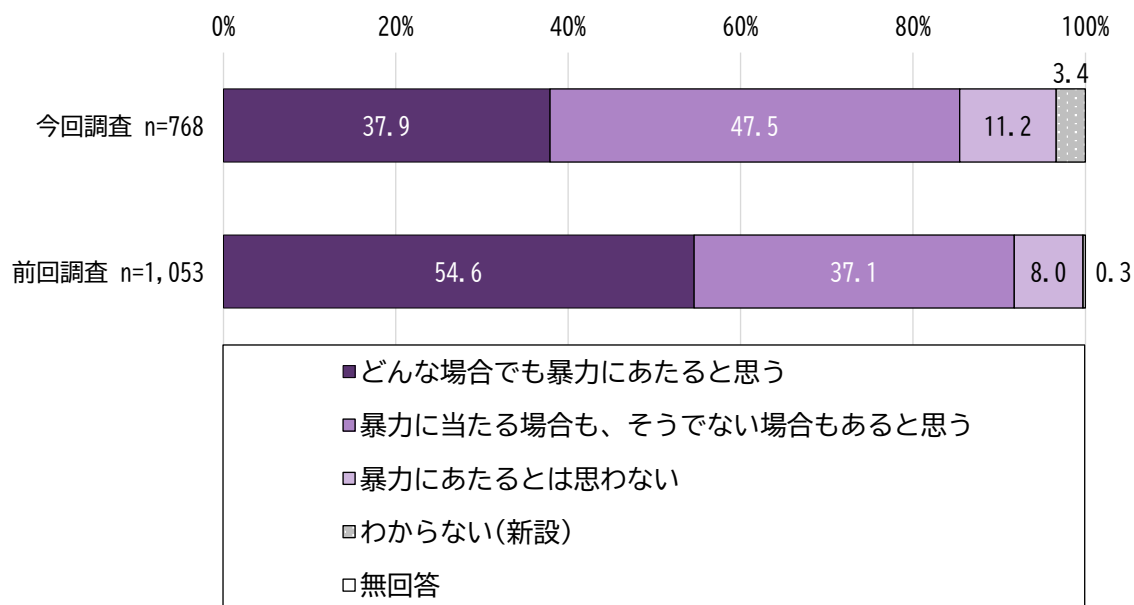
【男女比較】



(7) 長時間無視し続ける

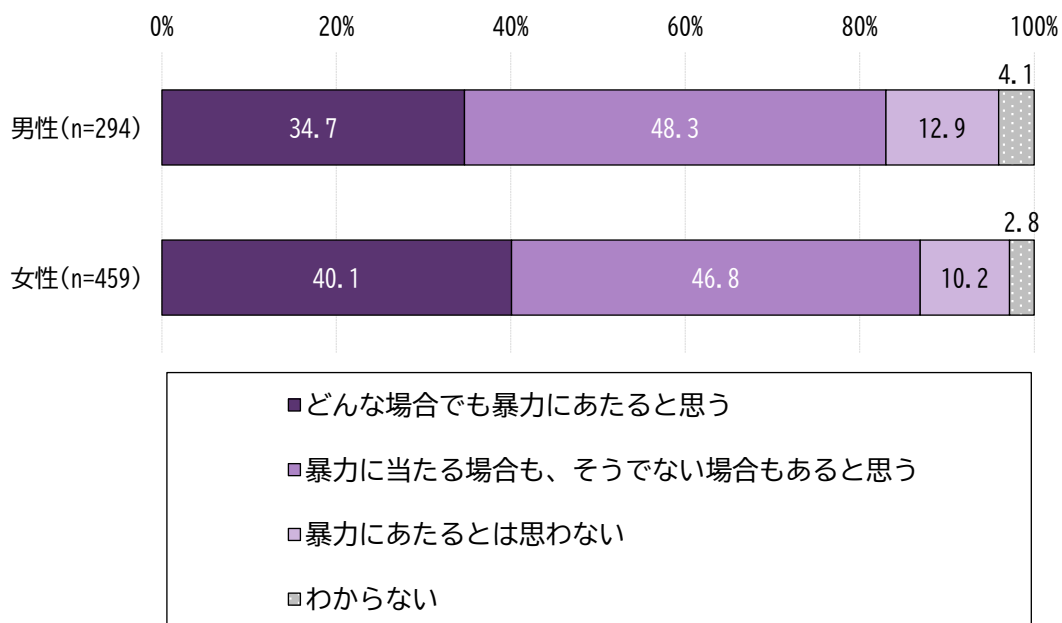
長時間無視し続ける行為については、「暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う」が47.5%と最も高くなっており、次いで「どんな場合でも暴力にあたると思う」が37.9%、「暴力にあたるとは思わない」が11.2%となっており、前回調査と比べ、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が16.7ポイント減少しています。

【前回比較】



男女比較では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」については、女性が男性より5.4ポイント高くなっています。

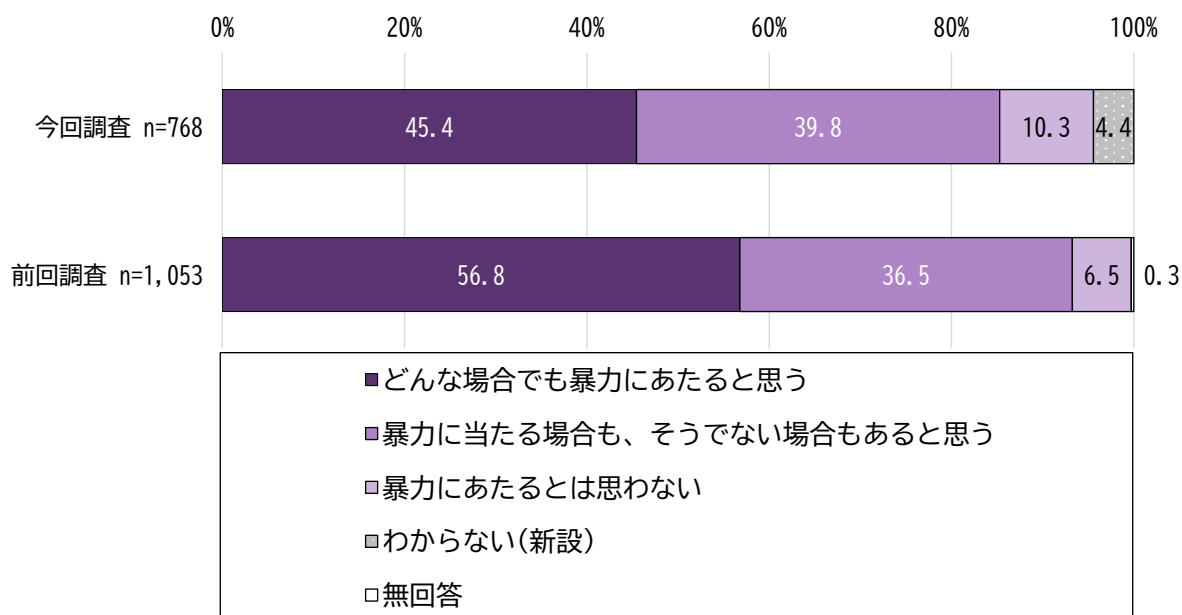
【男女比較】



(8) 電話、メール、行き先などを監視する

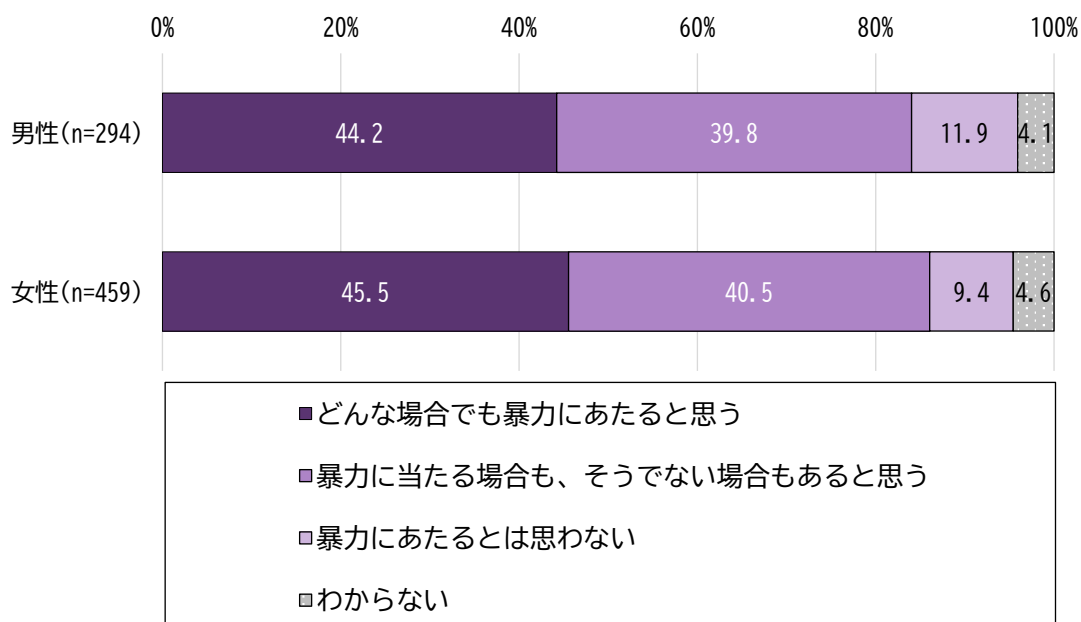
電話、メール、行き先などを監視する行為については、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が45.4%と最も高くなっており、次いで「暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う」が39.8%、「暴力にあたるとは思わない」が10.3%となっており、前回調査と比べ、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が11.4ポイント減少しています。

【前回比較】



男女比較では、男女同様の傾向がみられます。

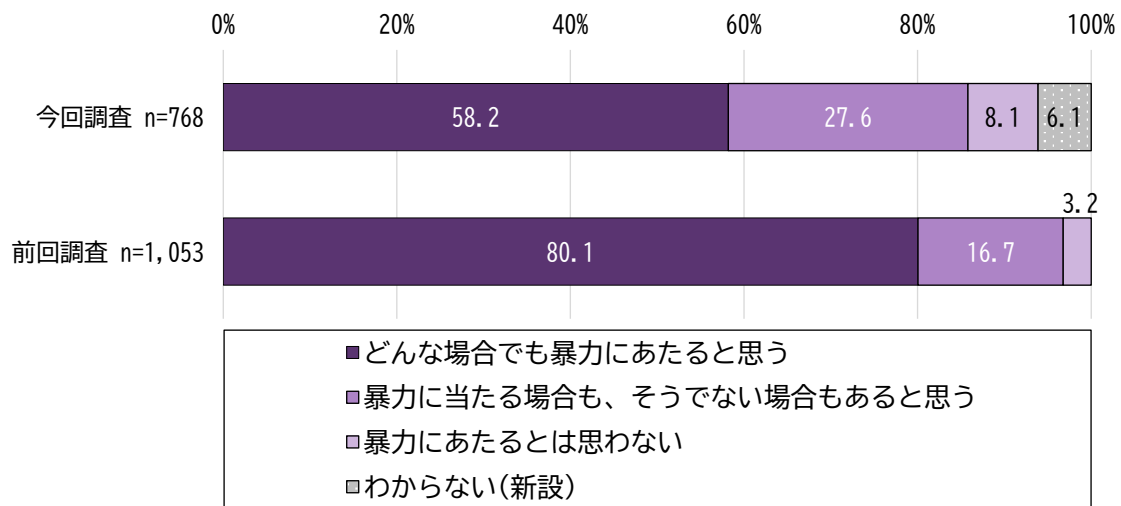
【男女比較】



(9) デートの費用を無理やり払わせる

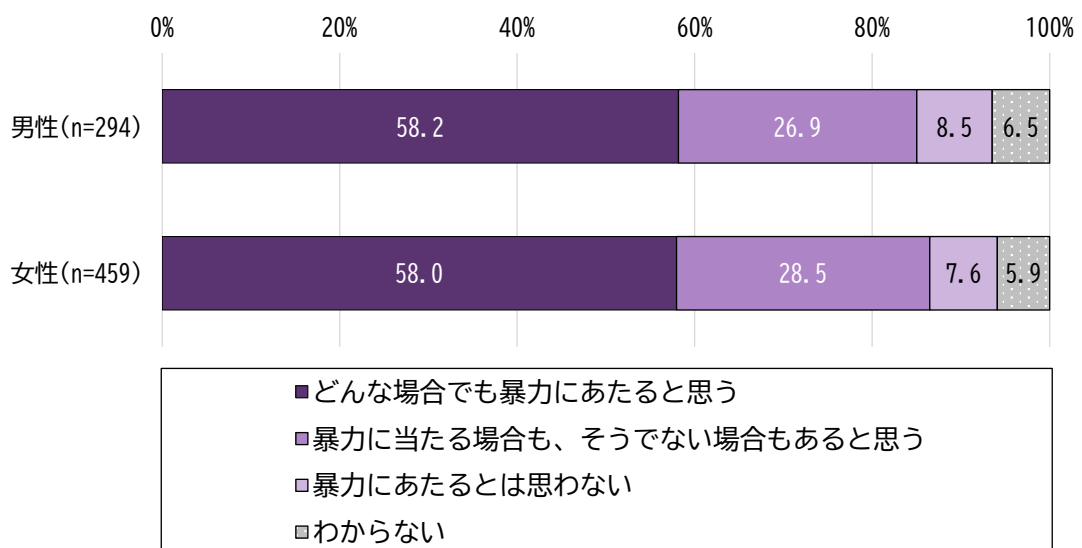
デートの費用を無理やり払わせる行為については、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が58.2%と最も高くなっており、次いで「暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う」が27.6%、「暴力にあたるとは思わない」が8.1%となっており、前回調査と比べ、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が21.9ポイント減少しています。

【前回比較】



男女比較では、男女同様の傾向がみられます。

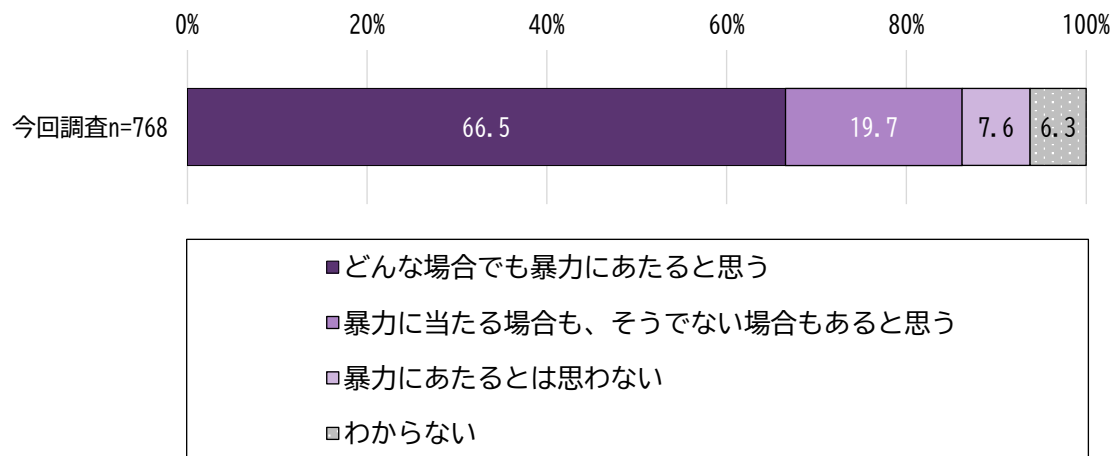
【男女比較】



(10) 借金をさせる 【今回新設】

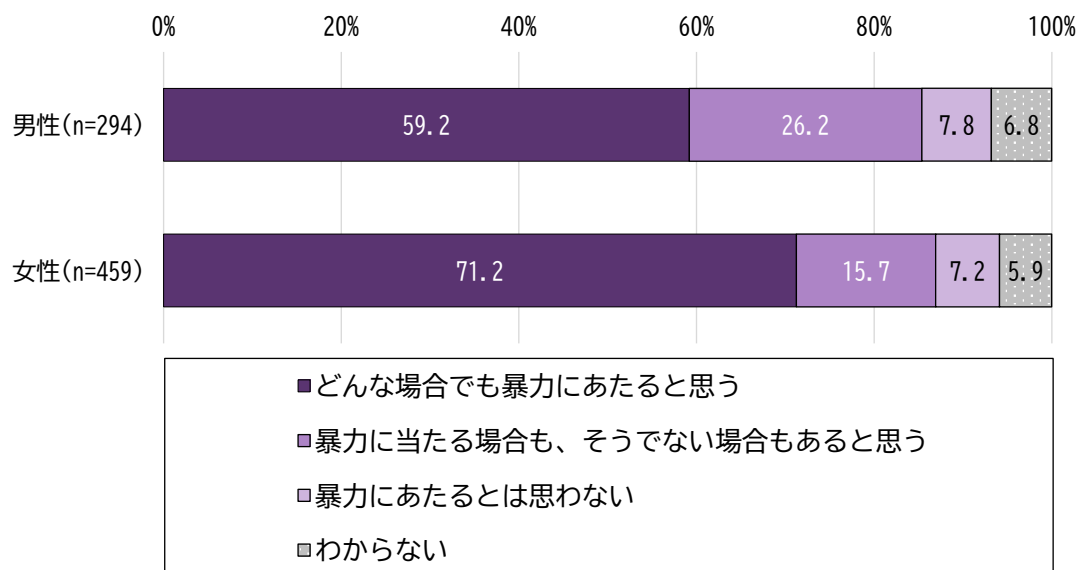
借金をさせる行為については、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が66.5%と最も高くなっており、次いで「暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う」が19.7%、「暴力にあたるとは思わない」が7.6%となっています。

【今回調査】



男女比較では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」について、女性が男性より12.0ポイント高くなっています。

【男女比較】

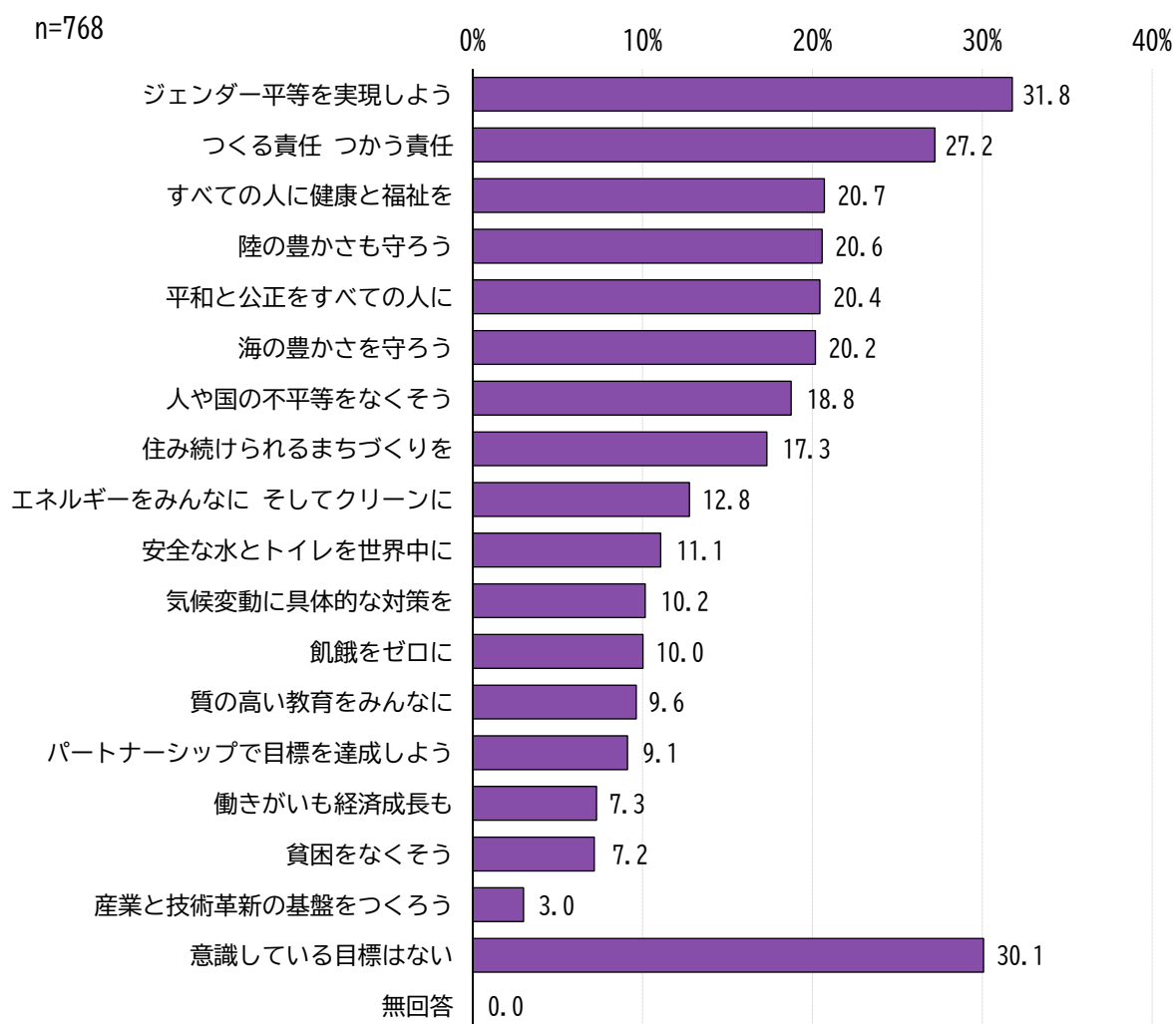


5. SDGs について

問10 【今回新設】あなたは、2030年までに達成を目指す「持続可能な開発目標（SDGs）」17の目標の中で、普段、意識している目標はありますか？該当する番号をすべて選んでください。

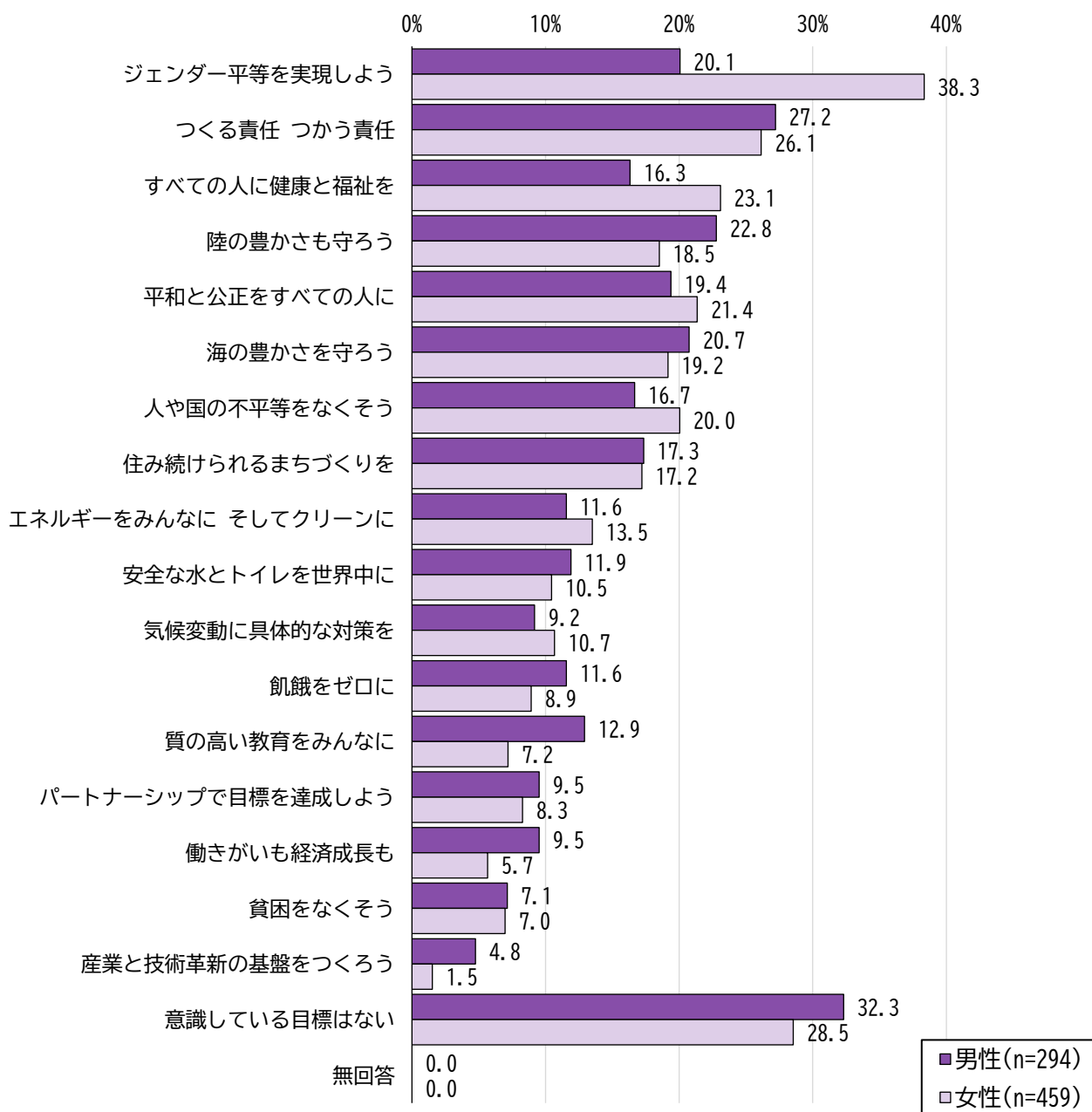
SDGs の 17 の目標のうち、普段意識していることについては、「ジェンダー平等を実現しよう」が 31.8%と最も高くなっており、次いで「意識している目標はない」が 30.1%、「つくる責任 つかう責任」が 27.2%、「すべての人に健康と福祉を」が 20.7%となっています。

【今回調査】



男女比較では、「ジェンダー平等を実現しよう」については、女性が男性より 18.2 ポイント高くなっています。

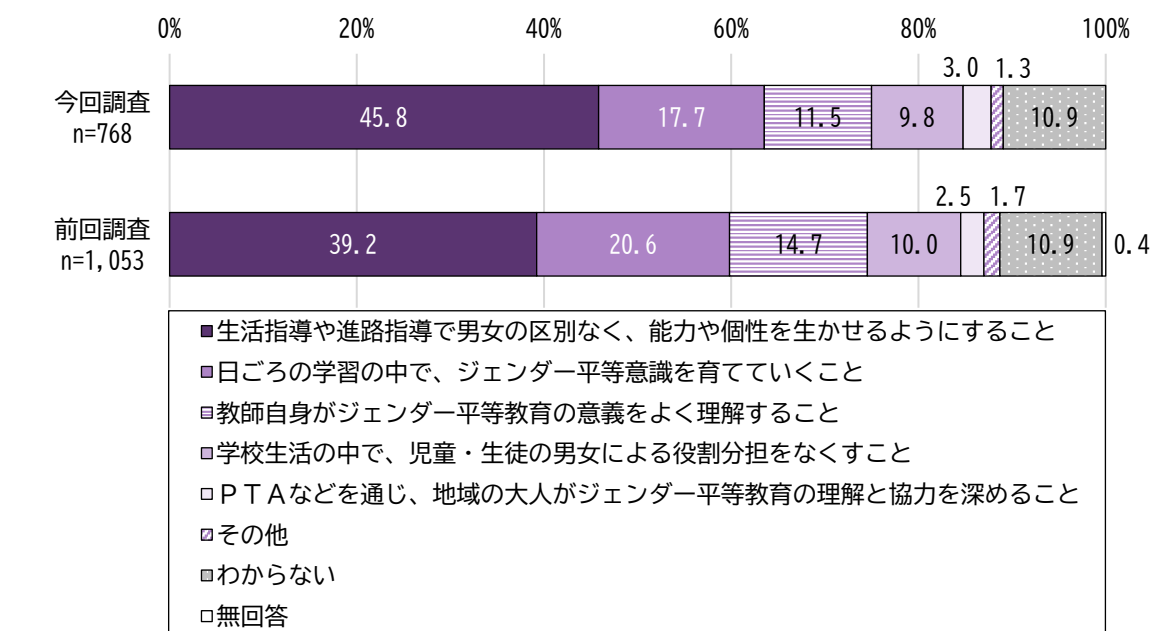
【男女比較】



問11 「持続可能な開発目標（SDGs）」の17の目標に、「ジェンダー平等を実現しよう」という目標がありますが、ジェンダー平等の実現のために学校教育で必要とされる取り組みは何だと思われますか？ 考えに近いものを1つ選んでください。

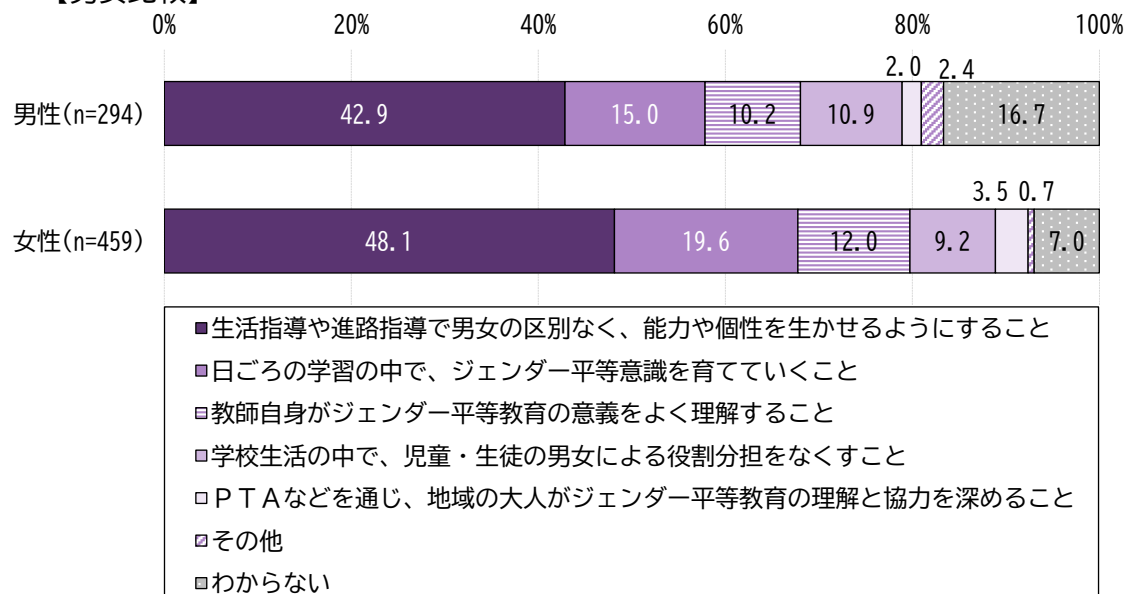
ジェンダー平等の実現のために学校教育で必要とされる取り組みについては、「生活指導や進路指導で男女の区別なく、能力や個性を生かせるようにすること」が45.8%と最も高くなっており、次いで「日ごろの学習の中で、ジェンダー平等意識を育てていくこと」が17.7%、「教師自身がジェンダー平等教育の意義をよく理解すること」が11.5%となっており、前回調査と比べ、「生活指導や進路指導で男女の区別なく、能力や個性を生かせるようにすること」が6.6ポイント増加しています。

【前回比較】



男女比較では、「生活指導や進路指導で男女の区別なく、能力や個性を生かせるようにすること」について、女性が男性より5.2ポイント高くなっています。

【男女比較】

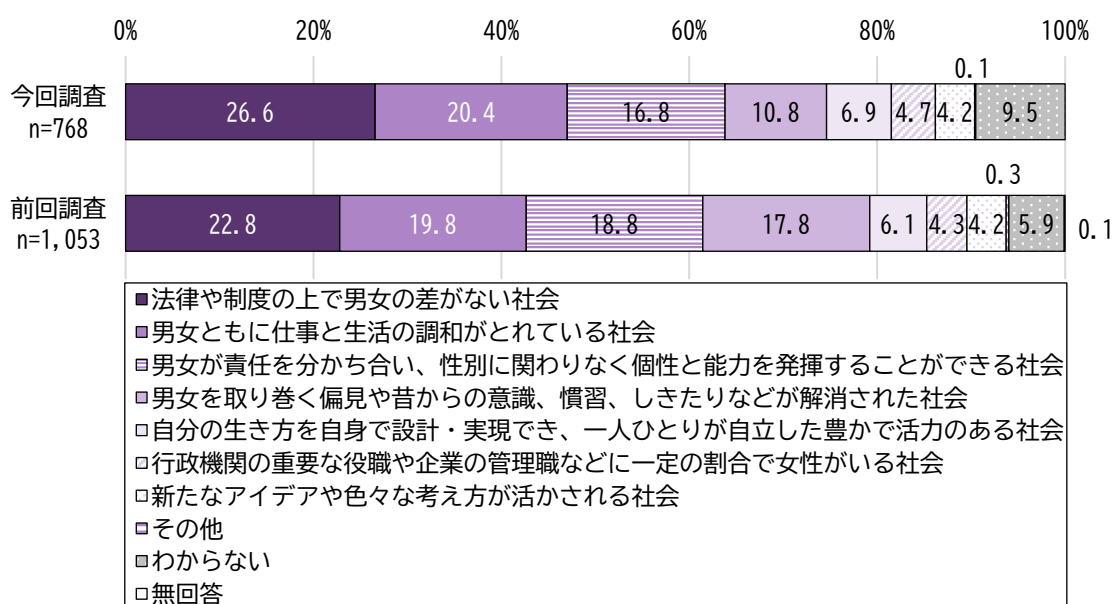


6. 男女共同参画社会について

問12 「男女共同参画社会」とは、次にあげるような社会であると考えられています。この中であなたが実現したい社会はどれですか。考えに近いものを1つ選んでください。

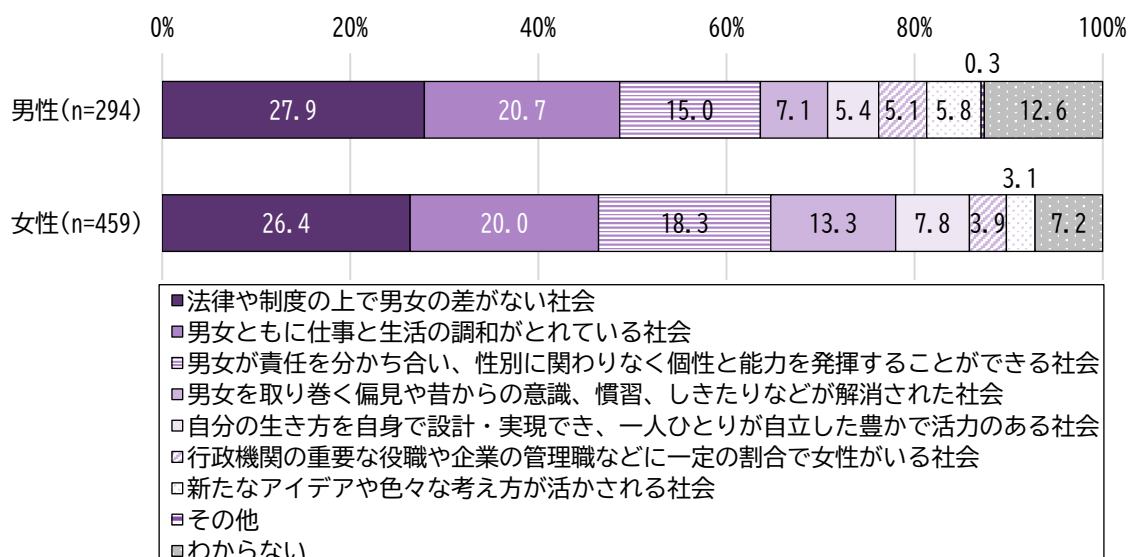
男女共同参画で実現したい社会については、「法律や制度の上で男女の差がない社会」が26.6%と最も高くなっており、次いで「男女ともに仕事と生活の調和がとれている社会」が20.4%、「男女が責任を分かち合い、性別に関わりなく個性と能力を発揮することができる社会」が16.8%となっており、前回調査と比べ、「男女を取り巻く偏見や昔からの意識、慣習、しきたりなどが解消された社会」が7.0ポイント減少しています。

【前回比較】



男女比較では、「男女を取り巻く偏見や昔からの意識、慣習、しきたりなどが解消された社会」で女性が男性より6.2ポイント高くなっています。

【男女比較】



Ⅲ その他の回答、自由記述

Ⅲ その他の回答、自由記述

1. その他の回答

問6-2 あなたが理想と考える将来の働き方はどのようなものか記入してください。

1	男性	仕事を楽しめるようになりたい。
2	男性	家事育児は均等または奥さんがやや多めに、最低限を満たせば仕事はやりたいように。
3	女性	自分の趣味をしながら、自分に合ったやり方で働きたい。

問11-2 ジェンダー平等の実現のために学校教育で必要とされる取り組みは何だと思うか記入してください。

1	男性	男女平等を語る前に今の各家庭がどのようなものかを調べる。また、男女平等であって女性を優位にではないことの周知。
2	男性	ジェンダー平等が当たり前のように振る舞うだけで十分だと思う。
3	男性	男子校や女子校というものをなくした方が良い。
4	男性	偏見があるのは別に悪くないと思う。全ての国民が好きなものを他の人になんと言われようと関係ない精神でいられるような取り組みの方が大事だと思う。先入観は仕方ない。
5	男性	男女差別につながるような言葉を使わないようにする。
6	男性	ジェンダー平等を過剰に意識せず、押し付けないこと。
7	女性	男性は青、女性はピンクと例にありますが、男性がピンクを選ぶことに対する偏見は随分薄れてきたように感じます。しかしながら、女性がピンクを選んだ際に「女性だからピンクを選んだのではないか。他の色を選んでも良い。」と、心からの選択に疑ってかかる風潮があると感じます。偏見をなくすことで生まれる新たな偏見をできるだけ減らす教育が必要かと思います。
8	女性	平等と公平、差別と区別の違いについて理解すること。また、大人の理想を子どもに押し付け洗脳しないこと。
9	女性	男女で体育で行う種目が、男子は柔道、女子はダンスと分かれていたので、性別関係なく選択できる方が良いと思った。

問12-2 「男女共同参画社会」とは、次にあげるような社会であると考えられています。あなたが実現したい社会について記入してください。

1	男性	男尊女卑を無くそうと女性ばかりを優位にしようとせず、どちらにとっても暮らしやすい社会。
---	----	---

2. 自由記述

問 13 男女共同参画について、ご意見などありましたらご自由にお書きください。

ご意見【性別：男性】
男女共同参画について中高生の時に内容を深く学ばなかったので、中高生のうちに公民などの授業などで内容を深堀していくことで若い世代に広まり男女共同参画社会の実現に近づくと考えます。
ジェンダー平等にするならハラスメントをなくし法の偏りをなくしないと無理。無駄に歳を重ねたゴミをのさばらせ過ぎだと思う。
私は 20 代の男性で昭和生まれではないが、「男は仕事、女は家事」の思想が一般的に悪になりつつある世界が危険だと思う。真の自由というものは、どの価値観も他者を侵害しない限り、多様性を担保されるべきである。
また、女性の活躍に関しても少し不満がある。というのは、「本当に女性が活躍したいのか？」という点である。実際、私の知り合いの女性は「働きたくない」といつも言っている。はっきり言って、仕事は苦痛を伴うものであり、こういった言葉を産んだ背景には男性の収入低下も隠されているはずだ。個人的には、「女性の社会進出とはまた、失われた 30 年を美しく表現したものだな」と思う。
また、出産や産後うつを考えると、女性が働きやすい世の中であるのはよいことだが、一辺倒に活躍が女性にとってもメリットだと思えない。病弱な男性もそうだ。
このように、様々な視点から批判的に男女共同参画という言葉を見ると、脆弱性があると考えられる。だから、アンケート作成者には大変申し訳ないが、1 つの意見として、「男女共同参画推進」はうさんくさく感じてしまう。単に「参画的ではないものを問題として取り上げる」行為は浅はかであり、十分にその背景を深く考える必要があると考える。
男女関係なく、「誰がやるか」や積極的に家事や子育てに協力するといった、思いやりの心が何よりも大切であると思う。
大学入試の女子枠や女性専用列車など女性優遇とも取れるものを政府や学校、企業などが押し進めていることにズレを感じる。極論入試などは定員 100 名として 50 名ずつ共に男女で取る制度があれば男女平等と言えるが女子枠を設けることは優遇でありまた、女性には下駄を履かせないと合格できないと捉えることもでき女性差別であると考えられる。また、企業の役員の〇%以上を女性にしますというのも考えなしで浅はかである。土方の仕事を例に出すと女性は法律で持てる荷物の重さが決まっているのに男性は制限がないので必然的にしんどい仕事は男性がやらなくてはならないがそれを給料同じにします。女性を先に昇進させますは到底理解が得られるものではないと考える。今の日本は女性優遇社会でありかつての男尊女卑であった昔の日本と立場が逆転している。これでまた時が経つと女性優遇だとなり男性を優遇しようとなる人たちごっこではないだろうか。性別関係なく能力に見合っ立ち位置につける社会を目指していくべきだと私は考えます
男性も育休を取得したり、急な子どもの体調不良などの有事にすぐに送迎や看病しやすい環境や意識づくりをしたほうがいいと思う。女性も同じく。
男子だから女子だからと言って、家事が決まっているわけではないので、どんな家事でも平等にしたいと思いました。
男と女は生物学的に違うものだから、差別ではなく、区別はすべきだと思う。
固定概念を捨てて、性別に関係なく生活できる社会になっていった方がよい。
就職内容で募集要項では可能であったものが、実際には無理な要綱だったもの。
男女で就職に差が出ることは無くなって欲しい。
男女が平等に機会を与えられるようになってほしい。
子育ては、夫婦で育休を取りながら交代でするといいと思う。
女性をどんどん優先するのはいいかもしれませんが、それが本当に男女平等にしているのかというところに常に疑問を抱いて議論していただきたいです。
ハラスメントの厳罰化を望む。

この手の質問は向こう側の糸口があるような気がして気持ち悪い。
性別によって得手不得手は必然的に生じてしまうので、助け合いながら生活したいです。
少しズれてしまいましたが、大学等の女子枠を設けるのはよく分からない。本来受かったはずの人が自分より点数の低い女性に枠を取られて受からないのは不公平だと思う。大学入試の実力主義を崩してまで能力の低い女性を取るのは、入試の機会が平等ではないと思う。

ご意見【性別：女性】
女性に注目している世の中ですが、その分男性も不満に思っていることあるのかなと思っています。どちらかに偏ることなく、1 人の市民、1 人の国民としての意見に耳を傾けることが大事だと感じています。
みんなで楽しく平和に暮らそう。
平均寿命が延びることに伴って老老介護での事件が多くなったと感じます。さらに、晩婚化によってヤングケアラーが誕生していることも事実です（自分）。介護保険制度を多くの人に知ってもらい、心身ともに負担の少ない介護生活をしてもらいたいと思います。申請方法や利用項目、施設の種類など日本ほど介護が充実している国はありません。介護保険料を納めている国民全員が制度内容を知る権利があるのです。
将来医療従事者になるものです。育休や時短勤務を取りやすいようにするには、人材の確保が必要不可欠だと、実務実習へ行ってみて感じました。
話は変わりますが、高市内閣発足時に女性閣僚が 3 人しかいないと言われた時に、高市首相が「男女平等とは機会平等である」旨を説明されていて、すごく腑に落ちました。
男女が完全に平等になることはないと思う。自分の体から直接授乳をできるのは女性だけ。夜泣きに対応していたら昼の仕事のパフォーマンスには影響が少なからず必ず出る。男性は自分の体から直接何かを与えることはない。育児中は特に体力の減少が男性と女性では異なると思う。そして仕事、家事も平等となると、必然的に女性の負担は大きくなる。半分は出来ない。絶対に出来ないと思う。
女性と男性で能力によって出世ができるような社会になって欲しい。
性別による得意不得意があることを無視しないような取り組みになるといいと思っています。
男性の育休取得を増やす。出産後の女性の復帰しやすい環境をつくる。
働き方改革をたくさんの企業で行う。
穏やかに暮らしたいです。
子育てはできるだけ夫婦協力してやる。安心安全な地域家庭をつくる。
暴力だと思うか思わないかの質問が多すぎるのとなにに必要なのあまり見えない。答えているうちにばかばかしく感じてきて途中回答をやめそうになりました。
子育てに全力になれる社会になって欲しい。また、復帰後も復帰前と同じように扱ってくれる社会になって欲しい。
育休は大事で男性も取るべきだという風習になってきているが、逆に長過ぎる期間を取ってしまい職場が困るなど、良し悪しの境目がはっきりできない。
女性が家庭に入ることが当たり前という考え方や、女性が家事をしている時に自分もやるではなく手伝うもしくは手伝おうともしない男性が減るように講習などをするべきかと思います。
時短勤務の女性がなかなか帰れない場面を見かけたことがあります。
周りの雰囲気が悪い訳ではなく、単純に人手不足のために帰りづらい状況になっているという感じでした。
職種によっては人手不足が深刻な場合もあるので、そういう点からもアプローチすれば、子育てしながら働きやすい環境を作っていけるのではないかと感じました。

ご意見【性別：その他】
男女で差別は本当にだめだと思う。
何事も平等にするのではなく、個人にあった制度、政策をつくる必要があると思います。
また、男性、女性等の括りにこだわりすぎず、融通を利かせることが本来目指している平等、暮らしやすさ、生きやすさを実現するのではと考えます。

IV 調査結果のまとめ

IV 調査結果のまとめ

1. 用語や役割の意識について

用語の認知度について、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」「ハラスメント」「働き方改革」「男女共同参画社会」は9割以上、「男女雇用機会均等法」「LGBTQ+」も約9割と高い認知度がみられました。

「女性活躍推進法」で約4割、「ダイバーシティ・インクルージョン」で約3割、「とも家事」「とも育て」では2割以下と比較的低い認知度となっています。

「男は仕事、女は家庭」というような性別によって役割を固定する考え方に「賛成」する人は全体で約1割、男性では約2割となっており女性に比べ性別による役割分担意識を持っている人が多くなっています。

男女共同参画の意識づくりに向けた継続的な広報・啓発の推進が必要です。

2. 自分のことや将来等について

(1) 自分のことについて

自分のことについては、前回調査と比べると、「自分のことが好き」「自分は周りの人から大切にされている」「悩みや心配事を相談できる人がある」で1割程度の増加がみられ、自己肯定感の上昇がうかがわれます。男女に大きな差はみられませんでした。

(単位：%)

項目	どちらかと言えば含む	今回	前回	今回－前回	男性	女性	男性－女性
自分のことが好きだ	好き	61.5	47.4	14.1	63.6	60.3	3.3
	嫌い	38.5	46.2	▲ 7.6	36.4	39.7	▲ 3.3
自分は周りの人から大切にされている	思う	84.2	72.4	11.9	81.0	86.7	▲ 5.8
	思わない	8.6	17.0	▲ 8.4	9.2	7.8	1.3
悩みや心配事を相談できる人がある	いる	90.9	81.4	9.5	89.1	92.6	▲ 3.5
	いない	9.1	15.0	▲ 5.9	10.9	7.4	3.5
世の中の役に立つことがしたい	思う	89.6	85.4	4.2	87.8	91.3	▲ 3.5
	思わない	6.5	10.4	▲ 3.8	8.2	5.0	3.2
自分の夢は努力すればかなう	思う	81.0	76.0	5.0	78.9	82.6	▲ 3.7
	思わない	10.7	14.2	▲ 3.6	10.5	10.5	0.1
大変なことがあってもがんばろうと思う	思う	88.9	84.5	4.4	88.1	89.8	▲ 1.7
	思わない	8.5	11.3	▲ 2.8	8.5	8.3	0.2
世の中には尊敬できる大人がいる	いる	88.2	86.1	2.0	89.1	87.6	1.5
	いない	11.8	8.5	3.4	10.9	12.4	▲ 1.5

(2) 家事の役割分担について

家事の役割分担については、食事の用意・後片付け、洗濯、掃除のいずれも、「母親」が8割程度を占めており、家事は母親が行う傾向が強くなっています。

また、回答者が男性の場合は、「父親」が家事を手伝い、回答者が女性の場合は、「自分自身」が家事を手伝う傾向がみられました。

固定的な性別役割分担意識の解消や性別に関する無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）への気づきなど、取り組みを進めていく必要があります。

(単位：%)

役割分担 (複数回答)	食事の用意・後片付け			洗濯			掃除		
	今回	前回	今回－ 前回	今回	前回	今回－ 前回	今回	前回	今回－ 前回
母親	81.8	82.1	▲ 0.4	76.0	81.0	▲ 5.0	76.2	76.8	▲ 0.7
父親	28.1	23.0	5.1	28.0	17.0	11.0	29.0	23.6	5.5
自分	47.7	41.6	6.1	29.2	22.3	6.8	34.5	34.1	0.4
兄弟姉妹	15.5	16.0	▲ 0.6	7.2	11.5	▲ 4.3	7.7	11.8	▲ 4.1
その他の家族	11.5	12.3	▲ 0.8	10.5	6.2	4.4	11.6	12.3	▲ 0.7
家事代行サービス	0.5	—	—	0.3	—	—	0.5	—	—

(3) 将来について

将来の働き方については、「仕事と家庭を両立し、どちらも充実した生活のできる働き方をしたい」と考える人が約6割と最も高く、男女に大きな差はありませんでした。

また、子育てに関しては、「夫婦ともに育児休業を取得して子どもを育てる」が約7割と最も高くなっています。

男女が共に働きやすい環境づくりにむけて、仕事と育児・介護が両立できる環境整備を推進していく必要があります。

3. デート DV について

デート DV に関し、どんな場合でも暴力にあたると考える割合では、「デートの費用を無理やり払わせる」「大声でどなる」で約6割、「電話、メール、行き先などを監視する」「長時間無視し続ける」では5割以下となっており前回調査より減少傾向がみられます。

また、「身体を傷つける可能性のあるものでなぐる」「平手で打つ、足でける」「借金をさせる」「大声でどなる」について、どんな場合でも暴力にあたると考える割合は男性が女性より10ポイント以上低くなっています。

デート DV について、「言葉も内容も知っている」割合は男女とも約6割で、前回調査より減少傾向がみられます。

あらゆる暴力の防止に向けた意識づくりを進めていく必要があります。

(単位：％)

【どんな場合でも暴力にあたると思う人】	今回	前回	今回－ 前回	男性	女性	男性－ 女性
嫌がっているのに、性的な行為を強要する、避妊に協力しない	94.5	93.7	0.8	92.5	96.1	▲ 3.6
身体を傷つける可能性のあるものでなぐる	89.7	95.9	▲ 6.2	82.3	94.6	▲ 12.2
なぐるふりをしておどす、刃物などをつきつけておどす	87.2	71.6	15.6	82.0	90.8	▲ 8.9
見たくないのに、無理にポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	81.8	87.4	▲ 5.6	78.2	84.3	▲ 6.1
平手で打つ、足でける	77.9	－	－	70.1	83.7	▲ 13.6
借金をさせる	66.5	－	－	59.2	71.2	▲ 12.1
デートの費用を無理やり払わせる	58.2	80.1	▲ 21.9	58.2	58.0	0.2
大声でどなる	56.1	64.7	▲ 8.6	49.0	60.3	▲ 11.4
電話、メール、行き先などを監視する	45.4	56.8	▲ 11.3	44.2	45.5	▲ 1.3
長時間無視し続ける	37.9	54.6	▲ 16.7	34.7	40.1	▲ 5.4

4. SDGs について

SDGs の 17 の目標に対する意識では、「ジェンダー平等を実現しよう」が約3割で最も高くなっており、特に女性が約4割と高くなっています。

ジェンダー平等を実現するために学校教育で必要とされる取り組みでは、「生活指導や進路指導で男女の区別なく、能力や個性を生かせるようにすること」が約5割と最も高くなっています。

学校生活における様々な活動において、男女の区別なく、能力や個性を生かし取り組むことができるよう、指導を充実していくことが必要です。

5. 男女共同参画社会について

男女共同参画で実現したい社会については、「法律や制度の上で男女の差がない社会」が約3割と最も高くなっています。

また、「男女を取り巻く偏見や昔からの意識、慣習、しきたりなどが解消された社会」は約1割と上位の項目ではありませんが、男女差が最も大きくなっており、女性の方が男女を取り巻く偏見や昔からの意識、慣習、しきたりをより感じているものと考えられます。

あらゆる分野における意思決定に女性が参画するなど、男女共同参画・女性活躍にかかる取り組みを推進するとともに、地域における男女共同参画を推進し、地域社会の活力を高めていくことが必要です。

V アンケート調査票

V アンケート調査票



大田原市男女共同参画に関する若者（高校生・大学生）意識調査

大田原市では、男女が社会のあらゆる分野に参画し、それぞれの個性や能力を十分に発揮しながら、互いにいきいきと暮らすことのできる男女共同参画社会の実現に向けて、「おおたわら男女共同参画プラン」を策定し、さまざまな取り組みを行っています。

そこでこれから社会に羽ばたく、時代の担い手である高校生・大学生の皆さんから男女共同参画に関する意識や考え方についてお聞きし、今後の計画や市の実施する事業に反映させるため、アンケート調査を実施することにしました。

この調査の趣旨をご理解いただき、誰とも相談せずに、自分の考えで回答してください。

記入についてのお願い

1. このアンケート調査は無記名で行い、目的外には使われません。ありのまま、思ったままを回答してください。
2. 質問の回答を選び、その番号を入力してください。
3. 考えても分からない場合は、空欄にせずに「わからない」を選択してください。

問1. お答えいただいたことを統計的に分析するため、あなたの性別をお答えください。 ※必須

- ☐ 男性
- ☐ 女性
- ☐ その他

問2. 次にあげる言葉や事柄について、知っているか、または聞いたことがありますか。あるものすべてを選んでください。
(複数選択可) ※必須

- ☐ 男女共同参画社会
- ☐ 男女雇用機会均等法
- ☐ 女性活躍推進法
- ☐ 働き方改革
- ☐ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
- ☐ ダイバーシティ・インクルージョン
- ☐ とも家事
- ☐ とも育て
- ☐ LGBTQ+
- ☐ ハラスメント
- ☐ わからない

問3. 「男は仕事、女は家庭」という、性別によって役割を固定する考え方について、あなたはどのように思いますか。考えに近いものを1つ選んでください。 ※必須

- ☐ 賛成
- ☐ どちらかといえば賛成
- ☐ どちらかといえば反対
- ☐ 反対
- ☐ わからない

問4-1. あなたは自分のことが好きですか。 ※必須

- ☐ 好き
- ☐ どちらかといえば好き
- ☐ どちらかといえば嫌い
- ☐ 嫌い
- ☐ どちらともいえない

問4-2. あなたは周りの人から大切にされていると思いますか。 ※必須

- ☐ そう思う
- ☐ まあまあそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ わからない

問4-3. あなたは悩みや心配事を相談できる人がいますか。 ※必須

- ☐ いる
- ☐ いない

問4-4. あなたは世の中に役に立つことがしたいと思いますか。 ※必須

- ☐ そう思う
- ☐ まあまあそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ わからない

問4-5. あなたの夢は努力すればかなうと思いますか。 ※必須

- ☐ そう思う
- ☐ まあまあそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ わからない

問4-6. あなたは大変なことがあってもがんばろうと思いますか。 ※必須

- ☐ そう思う
- ☐ まあまあそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ わからない

問4-7. あなたは世の中に尊敬できる大人がいますか。 ※必須

- ☐ いる
- ☐ いない

問4-7-2. 尊敬できる大人は誰か当てはまる番号をすべて選んでください。（複数選択可）

問4-7にて「いる」を選択した方のみご回答ください。

- ☐ 母親
- ☐ 父親
- ☐ 兄弟姉妹・祖父母
- ☐ 親戚

- ☐ 先生
- ☐ 先輩・知人
- ☐ 歴史上の人物や有名人
- ☐ その他

問5-1. あなたの家庭で、食事の用意・後片付けを主に行っているのは誰ですか。(複数選択可) ※必須

同程度に協力して行っている場合は、その人すべての番号を選んでください

- ☐ 母親
- ☐ 父親
- ☐ 自分
- ☐ 兄弟姉妹
- ☐ その他の家族
- ☐ 家事代行サービス

問5-2. あなたの家庭で、洗濯を主に行っているのは誰ですか。(複数選択可) ※必須

同程度に協力して行っている場合は、その人すべての番号を選んでください

- ☐ 母親
- ☐ 父親
- ☐ 自分
- ☐ 兄弟姉妹
- ☐ その他の家族
- ☐ 家事代行サービス

問5-3. あなたの家庭で、掃除を主に行っているのは誰ですか。(複数選択可) ※必須

同程度に協力して行っている場合は、その人すべての番号を選んでください

- ☐ 母親
- ☐ 父親
- ☐ 自分
- ☐ 兄弟姉妹
- ☐ その他の家族
- ☐ 家事代行サービス

問5-4. あなたの家庭で、介護を主に行っているのは誰ですか。(複数選択可) ※必須

同程度に協力して行っている場合は、その人すべての番号を選んでください

- ☐ 母親
- ☐ 父親
- ☐ 自分
- ☐ 兄弟姉妹
- ☐ その他の家族
- ☐ 家事代行サービス
- ☐ 介護を要する人がいない

問5-5. あなたの家庭で、幼い子どもの世話を主に行っているのは誰ですか。(複数選択可) ※必須

同程度に協力して行っている場合は、その人すべての番号を選んでください

- ☐ 母親
- ☐ 父親
- ☐ 自分
- ☐ 兄弟姉妹

- ☐ その他の家族
- ☐ 家事代行サービス
- ☐ 幼い子どもがいない

問6. あなたが理想と考える将来の働き方はどのようなものですか。考えに近いものを1つ選んでください。 ※必須

- ☐ 家庭生活の充実を第一に考え、仕事は無理のない範囲でしたい
- ☐ 仕事と家庭を両立し、どちらも充実した生活のできる働き方をしたい
- ☐ 仕事で自分の力を発揮し、キャリアを積み上げたい
- ☐ 出世しなくてよいから、自分にあった仕事を長く続け、力を発揮したい
- ☐ できれば仕事はせず、家庭で家事・子育てをしたい
- ☐ その他
- ☐ わからない

問6-2. あなたが理想と考える将来の働き方はどのようなものか記入してください。

問6でその他を選択した方のみ記入してください。

問7. もしあなたが将来子どもを持ったとき、子育てをどのように行っていきたいと思いますか。考えに近いものを1つ選んでください。 ※必須

- ☐ 夫婦ともに育児休業を取得して子どもを育てる
- ☐ 妻が育児休業を取得して子どもを育てる
- ☐ 夫が育児休業を取得して子どもを育てる
- ☐ 夫婦ともに育児休業を取らずに保育施設の利用や家族などの協力により子どもを育てる
- ☐ 妻がいったん仕事を辞めて子育てに専念する
- ☐ 夫がいったん仕事を辞めて子育てに専念する
- ☐ わからない

※育児休業とは子どもが満1歳になるまで（一定の条件で1歳6か月まで）、子どもを養育するために、男性も女性も休みを取得することができる制度です。以前に比べて現在は、夫婦が協力して育児休業を取得できるよう様々な制度があります。

問8. あなたは、「デートDV」（交際相手からの暴力）について、知っていますか？ ※必須

- ☐ 言葉も、その内容も知っている
- ☐ 言葉があることは知っているが、内容はよく知らない
- ☐ 言葉があることを知らなかった

※デートDVとは交際している恋人同士の間で起きる暴力です。配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振るわれる暴力のDV（ドメスティック・バイオレンス）と同じで、交際相手と対等な関係ではなく、一方が相手を自分の思うようにする（支配する）ことで、社会問題になっています。

問9-1. あなたは、交際相手が平手で打つ、足でける行為について、暴力だと思いますか。 ※必須

- ☐ どんな場合でも暴力にあたると思う
- ☐ 暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う
- ☐ 暴力にあたるとは思わない
- ☐ わからない

問9-2. あなたは、交際相手が身体を傷つける可能性のあるものでなぐる行為について、暴力だと思いますか。 ※必須

- ☐ どんな場合でも暴力にあたると思う
- ☐ 暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う

- ☐ 暴力にあたるとは思わない
- ☐ わからない

問9-3. あなたは、交際相手がなぐるふりをしておどす、刃物などをつきつけておどす行為について、暴力だと思いますか。

※必須

- ☐ どんな場合でも暴力にあたると思う
- ☐ 暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う
- ☐ 暴力にあたるとは思わない
- ☐ わからない

問9-4. あなたは、交際相手が大声でどなる行為について、暴力だと思いますか。 ※必須

- ☐ どんな場合でも暴力にあたると思う
- ☐ 暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う
- ☐ 暴力にあたるとは思わない
- ☐ わからない

問9-5. あなたは、交際相手が嫌がっているのに、性的な行為を強要する、避妊に協力しない行為について、暴力だと思いますか。 ※必須

- ☐ どんな場合でも暴力にあたると思う
- ☐ 暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う
- ☐ 暴力にあたるとは思わない
- ☐ わからない

問9-6. あなたは、交際相手が見たくないのに、無理にポルノビデオやポルノ雑誌を見せる行為について、暴力だと思いますか。 ※必須

- ☐ どんな場合でも暴力にあたると思う
- ☐ 暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う
- ☐ 暴力にあたるとは思わない
- ☐ わからない

問9-7. あなたは、交際相手が長時間無視し続ける行為について、暴力だと思いますか。 ※必須

- ☐ どんな場合でも暴力にあたると思う
- ☐ 暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う
- ☐ 暴力にあたるとは思わない
- ☐ わからない

問9-8. あなたは、交際相手が電話、メール、行き先などを監視する行為について、暴力だと思いますか。 ※必須

- ☐ どんな場合でも暴力にあたると思う
- ☐ 暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う
- ☐ 暴力にあたるとは思わない
- ☐ わからない

問9-9. あなたは、デートの費用を無理やり払わせる行為について、暴力だと思いますか。 ※必須

- ☐ どんな場合でも暴力にあたると思う
- ☐ 暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う
- ☐ 暴力にあたるとは思わない
- ☐ わからない

問9-10. あなたは、交際相手に借金をさせる行為について、暴力だと思いますか。 ※必須

- ☐ どんな場合でも暴力にあたると思う
- ☐ 暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う

- ☐ 暴力にあたるとは思わない
- ☐ わからない

問10. あなたは、2030年までに達成を目指す「持続可能な開発目標（SDGs）」17の目標の中で、普段、意識している目標はありますか。該当する番号をすべて選んでください。（複数選択可） ※必須

- ☐ 貧困をなくそう
- ☐ 飢餓をゼロに
- ☐ すべての人に健康と福祉を
- ☐ 質の高い教育をみんなに
- ☐ ジェンダー平等を実現しよう
- ☐ 安全な水とトイレを世界中に
- ☐ エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- ☐ 働きがいも経済成長も
- ☐ 産業と技術革新の基盤をつくろう
- ☐ 人や国の不平等をなくそう
- ☐ 住み続けられるまちづくりを
- ☐ つくる責任つかう責任
- ☐ 気候変動に具体的な対策を
- ☐ 海の豊かさを守ろう
- ☐ 陸の豊かさを守ろう
- ☐ 平和と公正をすべての人に
- ☐ パートナリーシップで目標を達成しよう
- ☐ 意識している目標はない

問11. 「持続可能な開発目標（SDGs）」の17の目標に、「ジェンダー平等を実現しよう」という目標がありますが、ジェンダー平等の実現のために学校教育で必要とされる取り組みは何だと思われますか。考えに近いものを1つ選んでください。 ※必須

※ジェンダーとは社会的・文化的に形成された性別のこと。「男性は、女性はこうあるべき、するべき」と、みんなが無意識に考えているイメージが社会的・文化的に形成された性別です。例えば「外で働くのは男性で、家のことをするのは女性」「男性は青、女性はピンク」と決めつけること。こういった先入観が、ジェンダーの不平等や差別を生んでいます。

- ☐ 生活指導や進路指導で男女の区別なく、能力や個性を生かせるようにすること
- ☐ 日ごろの学習の中で、ジェンダー平等意識を育てていくこと
- ☐ 教師自身がジェンダー平等教育の意義をよく理解すること
- ☐ 学校生活の中で、児童・生徒の男女による役割分担をなくすこと
- ☐ PTAなどを通じ、地域の大人がジェンダー平等教育の理解と協力を深めること
- ☐ その他
- ☐ わからない

問11-2. ジェンダー平等の実現のために学校教育で必要とされる取り組みは何だと思うか記入してください。

問11-1で「その他」を選択した方のみ記入してください。

問12. 「男女共同参画社会」とは、次にあげるような社会であると考えられています。この中であなたが実現したい社会はどれですか。考えに近いものを1つ選んでください。 ※必須

- ☐ 法律や制度の上で男女の差がない社会（例：給与や昇進の機会が男女で同じである など）
- ☐ 行政機関の重要な役職や企業の管理職などに一定の割合で女性がいる社会（例：部長、課長、次長などの役職に女性が全体の30%以上いる など）
- ☐ 男女ともに仕事と生活の調和がとれている社会（例：男性も1年間育児休業を取得し、子育てと仕事を両立している など）

- ☐ 新たなアイデアや色々な考え方が活かされる社会
- ☐ 男女が責任を分かち合い、性別に関わりなく個性と能力を発揮することができる社会（例：男性も女性も協力して、育児・介護・仕事・地域などで自分らしく生活できる など）
- ☐ 男女を取り巻く偏見や昔からの意識、慣習、しきたりなどが解消された社会（例：女性が家事、男性が仕事という昔ながらの意識に縛られずに選択できる など）
- ☐ 自分の生き方を自身で設計・実現でき、一人ひとりが自立した豊かで活力のある社会
- ☐ その他
- ☐ わからない

問 1 2 - 2. あなたが実現したい社会について記入してください。

問 1 2 で「その他」を選択した方のみ記入してください。

問 1 3. 男女共同参画について、ご意見などありましたらご自由にお書きください。

【キーワード】就職、女性の活躍、子育て、介護、とも家事、とも育て、DV、ハラスメント、ワークライフバランス、教育、地域・家庭 など

大田原市男女共同参画に関する
若者（高校生・大学生）意識調査結果報告書

発行 令和8年5月

編集 大田原市 総合政策部 政策推進課

〒324-8641 栃木県大田原市本町1丁目4番1号

Tel 0287-23-8715

ホームページ <https://www.city.ohatawara.tochigi.jp>